２０２２年度

事業報告書

2022（令和4）年4月1日

～

2023（令和5）年3月31日

公益社団法人 札幌聴覚障害者協会
〒060-0042　札幌市中央区大通西19丁目1-358
札幌市視聴覚障がい者情報センター内
TEL：011-642-8010・FAX：011-642-8377
メール：houjinjimukyoku@sadeaf.jp

【2022年度事業実施報告】

（法人の目的と事業活動）

当法人は、聴覚障害者に対する社会一般の認識を深め、その社会参加を促進するため、聴覚障害者の福祉の増進に関する事業を行ない、もって社会福祉の発展に寄与することを目的とし、定款に掲げる次の事業を実施しました。

(1) 聴覚障害者の福祉向上に関する事業
(2) 聴覚障害者の生活相談及び生活支援に関する事業
(3) 聴覚障害者の社会啓発運動に関する事業
(4) 聴覚障害者の広報・啓発に関する事業
(5) 聴覚障害者の福祉の増進のための調査及び研究に関する事業
(6) 聴覚障害者の文化教養・スポーツに関する事業
(7) 手話通訳者養成事業
(8) 手話通訳者派遣事業
(9) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害者福祉サービス事業
(10) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域活動支援センター事業
(11) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく移動支援事業
(12) 介護保険法に基づく居宅介護サービス事業及び介護予防サービス事業
(13) 介護保険法に基づく地域密着型サービス事業及び地域密着型介護予防サービス事業
(14) 介護保険法に基づく介護予防・日常生活支援総合事業
(15) サービス付き高齢者向け住宅事業
(16) 聴覚障害者の厚生福利及び相互親睦に関する事業
(17) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

（事業面の特徴的なこと）

１．コロナ禍は収束状況が見えてきましたが、引き続き全事業所で感染防止を図っていきます。

２．職員の確保、資質向上、待遇面の改善、利用者の確保は、引き続き全事業を円滑に進めるための課題です。人材確保は、事業説明会を開催し確保に努めています。資質向上は研修会の開催、研修会への参加派遣などを通じて向上に努めています。待遇面は必要に応じて見直しを図るよう努力しています。安定運営のための利用者確保も各事業所で努力をして

います。また、聴覚障がい者支援センターほほえみ後援会による支援も事業運営の支えになっています。

３．聴覚障がい児童分野の事業は、市内にある既存の聴覚障がい児・生徒を対象とする事業所との連携を必要に応じて図っていきます。

４．コロナ禍の減収を乗り切るために借り入れた資金の返済は滞りなくおこなわれています。

５．会議や研修などは、感染防止策を図りながら対面とオンラインによる使い分けが普及、定着してきました。情報通信機器の所持の有無、通信の乱れ、使い方習熟の課題もあり、コロナ終息が全事業の安定と継続の大前提です。

６．詳細な報告は、各事業の報告に委ねます。

（運動面の特徴的なこと）

情報通信機器（スマホ、パソコンなど）の普及、携帯化で情報が簡単に入手できるようになっています。それぞれの運動をホームページで確認し、活動や学習に活用していきましょう。

１．一般財団法人全日本ろうあ連盟　https://www.jfd.or.jp/

①　全国ろうあ者大会、映画「咲む」、新型コロナウイルス危機管理対策、旧優生保護法に関する取り組み、デフリンピック大会情報、ＪＦＤカード誕生など運動と私たちの社会的課題への取り組みが掲載されています。

２．公益社団法人北海道ろうあ連盟
https://hokurouren.jp/

①　連盟の運動、事業の取り組みが次のように掲載されています。
行事案内、手話通訳養成講座、「咲む」上映会、出版・販売、お問い合わせ、手話カレンダー

②　聴覚障害者情報センターの取り組みが次のように掲載されています。
センター案内、事業案内、行事・講座案内、リンク集、お問い合わせ

３．公益社団法人札幌聴覚障害者協会　http://sapporo-deaf.jp/

①　交流、学ぶ、働く、手話通訳、暮らす、知る　の各分野に関する情報が次のように掲載されています。
この協会について、事業所一覧、手話・字幕入り映像資料の貸出、書籍・グッズ販売、職員募集、アクセス、災害について
それぞれご覧になって、感想やご意見、ご要望をお寄せください。

【公益目的事業】

〖公１〗手話通訳者派遣・手話普及事業

Ⅰ　手話通訳者の派遣・認定・研修

手話の普及並びに手話通訳者の認定・登録・更新と、聴覚障害者に対する理解を深め、聴覚障害者と聞こえる人の円滑なコミュニケーションを目的とし、依頼に応じて手話通訳者を派遣した。

１．手話通訳者派遣事業の実施（札幌市委託事業）

ろう者等と聞こえる人との意思の疎通を円滑にするため、手話通訳者を必要とする場合に派遣した。

期　間：2022年4月～2023年3月（年間）
場　所：原則として札幌市内
受　付：手話通訳者派遣室

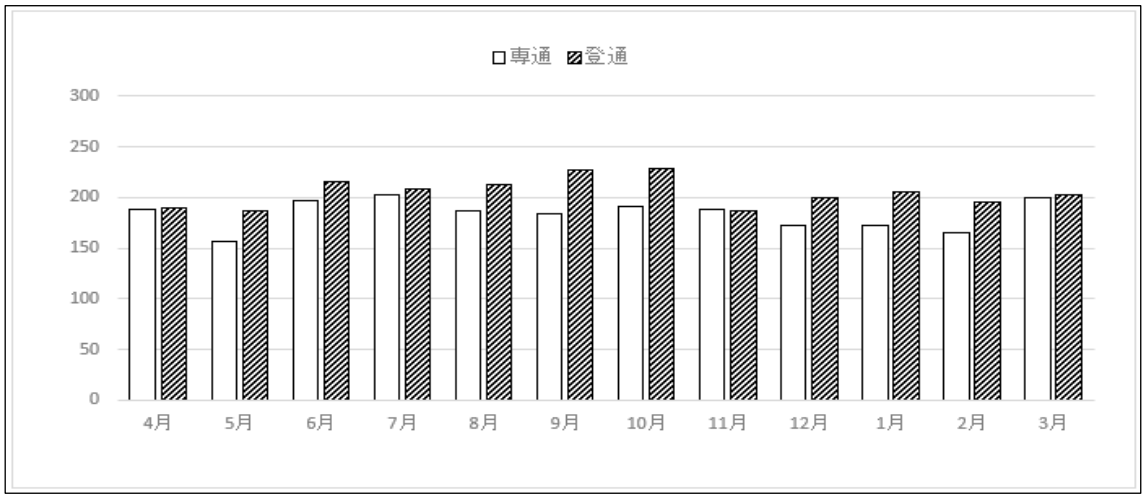
（１）派遣事業の実績及び近況報告　5,064件＋2,184件 ＝ 総件数 7,248件

年度	2021年度 4,577件					2022年度 4,664件						
区分	依頼件数	派遣人数			派遣時間	依頼件数	派遣人数			派遣時間	取り消し	確保不可
		計	専通	登通			計	専通	登通			
医療・保健	4,026	3,409	1,548	1,861	4123:33	3,850	3,319	1,329	1,990	4170:29	352	270
(内、介護保険)	445	383	207	176	344:02	508	410	204	206	369:00	48	53
司法	60	55	49	6	67:20	45	35	33	2	38:15	12	3
教育・保育	124	109	42	67	126:10	151	137	67	70	161:25	22	12
労働・雇用	81	62	33	29	75:15	104	101	49	52	142:45	16	13
地域・住宅	36	38	11	27	41:15	60	69	13	56	92:35	3	5
人間関係	19	17	5	12	32:40	29	25	10	15	52:25	9	0
文化・教養	57	68	37	31	175:25	104	170	73	97	410:47	27	13
社会生活	320	300	177	123	414:10	348	369	195	174	607:05	40	46
その他	428	519	517	2	277:05	373	439	436	3	242:40	7	1
(来所者)	383	383	383			303	303	303				
(電話通訳)	410	410	410			401	401	401				
(TV電話)	174	174	174			160	160	160				
(FAX対応他)	236	236	236			179	179	179				
合　計	5,151	4,577	2,419	2,158	5332:53	5,064	4,664	2,205	2,459	5918:26	488	363

※介護保険の内容：認定調査・ケアマネジャーモニタリング・訪問看護
往診・担当者会議　他
※「その他」は来所対応が15分を超えた時には、依頼件数に含めている。それ以外は下記の通り。
※別表参照

区分	来所者	電話通訳	TV電話	FAX対応他	合　　計
2021年度	432	212	912	485	2041
2022年度	559	292	711	622	2184

（２）毎月の派遣件数の比較（専従手話通訳者＆登録手話通訳者）



（３）札幌市手話通訳者状況報告（2023年3月31日現在）
専従手話通訳者　9名　　登録手話通訳者　62名
※資格取得状況（専通・登通含む）
手話通訳士　33名　　統一試験（手話通訳者）58名 ※2022年度合格者含む

【手話通訳者養成等運営会議（派遣）】

（１）新型コロナウイルス感染症は、2022年7月感染力の強いオミクロン株が猛威を振るい、過去最高の感染者数に達した。手話通訳者はルカミィマスクを継続して使用、医療機関によっては感染対策が徹底されており、入院・手術等は専通が対応した。通訳者が道外へ出かけ帰札の際は、登通には一定の期間を空けてもらい、専通はPCR検査を受け、感染拡大の予防を行った。現在、政府対策本部は厚生労働省の審議会の意見を踏まえ、2023年5月から季節性インフルエンザと同様の「５類」へと引き下げる方針が示されたが、コロナ感染者は収束には至っていない。通訳稼動中は基本的な感染対策を徹底し、感染予防に努める。

（２）遠隔手話通訳方式が導入されて2年目となる。2022年度の利用件数は、ほぼ横ばいの28件であり、主な利用内容は、長期入院・施設在宅支援・教育場面である。コロナ感染患者（高齢ろう者）が同時期に3か所の医療機関へ分散入院の際は、遠隔手話通訳方式を活用し、医師・看護師の協力を得て通訳保障を行うことが出来た。高齢ろう者はタブレット（平面）の手話通訳は分かりにくいとの意見もあったが、短時間でも手話で会話ができて安心したとの意見もあった。導入3年目としては、医療分

野だけでなく他の場面でも遠隔手話通訳方式を有効に活用していきたい。

（３）コロナワクチン接種の予約については、開始当初 FAX 予約が出来ず、当協会として要望をする中で、保健所担当者の配慮もあり、FAX 予約が可能となった。但し、市のホームページには一般公開されていない。「ろうあ老人クラブ」の取組みとして、集団接種が開催することが可能となり、会場には通訳者を配置し、複数のろう者がワクチン接種をする事ができた。2022年度は3回～5回目の接種へ117名の通訳者を派遣した。現在、予約なしで接種可能な会場が増えているが、ワクチン接種の依頼は減少している。

（４）2021年7月公共インフラとして電話リレーサービス事業（総務省）が実施されたことにより、聴覚障害者が自由に連絡することが可能となった。一方、従来の手話通訳を介しての電話通訳による問合せや手続き等が断られることもあり、中には電話リレーサービス事業を利用するようにと説明されるようになった。事業の開始により、ろう者が自由に連絡できることは大切だが、ろう者が主体的に選択できることが望ましい。

（５）旧優生保護法強制不妊手術被害者弁護団が裁判所に働きかけを行い、裁判の傍聴と被害者訴訟期日後報告集会には通訳申請があり、継続して対応している。現在は、1事例の高裁は国に損害賠償を命じる判決を言い渡し、国は上告した。もう1事例は高裁判決が6月の予定である。通訳保障に係る情報については、毎回札聴協より情報メールとして配信し、傍聴の呼びかけを実施している。

（６）コーディネート業務は、申請内容を把握し対象者の理解力を配慮、関係機関と連携等、社会資源を作ることが重要である。そのためには通訳行為＝コーディネート業務が可能ともならず、日常業務を通して、社会福祉援助技術の視点を磨き、質の向上に努めている。

２．手話通訳者認定・登録・更新の実施

（１）一次試験（手話通訳者全国統一試験）の実施

手話通訳者として必要な知識及び技能を審査するため、筆記及び実技試験の問題・採点基準及び具体的実施方法などについて、全国手話研修センターから提供を受け、手話通訳者全国統一試験を実施した。

期　日：2022年12月3日(土)

会　場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2020年度以前の手話通訳者養成課程修了者、2021年度手話通訳者養成講座受講生修了見込者、2022年度手話通訳者養成講座受講生（再受講生）または、手話通訳者養成課程修了者と同等の知識及び技術を有する者

※合格発表：2023年3月1日(水)

（２）二次試験(面接試験)

札幌市登録手話通訳者を認定するための面接試験を実施

期　日：2023年3月18日(土)

会　場：市視聴覚障がい者情報センター

対象者：2022年度一次試験（手話通訳者全国統一試験）合格者及び手話通訳者全国統一試験又は手話通訳士試験の合格者

＜登録申込状況＞　（単位：名）

区　　分	2022年度合格者	市外より転入	在札有資格者
統一試験	2	0	1　※勤務先が札幌市
手話通訳士	0	0	0
合　　計	2	0	1

＜受験者及び合格者状況＞　（単位：名）

区分	2021年度				区分	2022年度			
	申込者数	受験者数	合格者数	合格率		申込者数	受験者数	合格者数	合格率
2021年度養成講座受講生	2	2	1	50%	2022年度養成講座受講生	1	1	0	0%
2020年度養成講座修了者	6	5	2	40%	2021年度養成講座修了者	5	4	1	25%
2019年度以前養成講座修了者	14	14	5	35.7%	2020年度以前養成講座修了者	12	9	1	11%
そ　の　他	0	0	0	0%	そ　の　他	1	1	0	0%
合　　計	22	21	8	38%	合　　計	19	15	2	13%

（３）登録手話通訳者状況　　（2023年3月31日現在）　（単位：名）

項　目 ＼ 年　度	2020	2021	2022
登録手話通訳者数	58	53	62
常勤・非常勤の仕事あり	33	33	38
通訳者自身の病気療養（育児・家族の介護）あり	30	26	24
平日の日中活動可能	15	12	10

【手話通訳者養成等運営会議（派遣）】

（１）登通62名中、長期活動休止者の理由としては、体調不良（コロナ感染者含む）・仕事・子育て・介護等であった。コロナ禍の継続する中、道外からの帰札時には体調を確認し、即の稼働とはせず対応するようにした。新登通は昼間の稼働が可能であったので、ろう者の理解力を配慮しながらさまざまな派遣分野を体験してもらい対応した。

（２）コロナ禍の稼働については、透明マスク着用とし、発熱やコロナ感染疑いの派遣には、登通への要請は控えて専通対応とした。稼働の意思の確認は経験年数を問わず、毎月の予定表を提出していただいた方に、感染予防に留意してもらいお願いをした。交通機関やタクシー利用、通勤のラッシュ時を避けたり、登通の要望を可能な限り配慮して行った。

（３）電話リレーサービス事業が継続して当協会が実施していることもあり、通訳オペレーターとして登録している登通には、市へも報告して、通訳者の健康管理を配慮して稼働は控えるように努力している。2023年度も、通訳者の負荷とならないように法人事務局と連携していきたい。また、ハローワークの手話協力員・手話普及事業の講師・勤医協札幌病院代替手話通訳者等も同様に稼働については配慮をしている。

３．札幌市・札聴協手話通訳者現任研修会の開催

2015年度から、札幌市手話通訳者と札聴協手話通訳者合同の現任研修会

とし、手話通訳者の資質・技術の向上及び情報交換などを行なうため研修会を開催した。

期　間：2022年4月～2023年3月（全25回）　内訳　市のみ（新登録手話通訳者対象3回）協会のみ（研修4回、自主研3回）を含む。

会　場：市視聴覚障がい者情報センター、市社会福祉総合センター

対象者：札幌市専従手話通訳者・札幌市登録手話通訳者・札聴協登録手話通訳者

講　師：基本的には専通が担当。

（内、◆合同（市･札聴協）の研修、◇札聴協のみの研修）

研　修　内　容	月　日	出席者数
1）札幌市・札聴協手話通訳者派遣事業に関する説明会 ◆	2022年 4月1日	47名
2）手話通訳に必要な現場対応力を考える ◆	5月10日	28名
3）事例研修①②　‥通訳者の役割を考える ◆	6月20日 21日	14名 23名
4）ロールプレイ①②‥ロールプレイ＆模擬通訳学習 ◆	7月25日 26日	12名 9名
5）技術研修 ◇	8月16日	6名
6）登録手話通訳者懇談会　‥札幌市＆札聴協理事	8月26日	中止
7）事例研修③④ ◆	9月26日 27日	11名 15名
8）健康学習会（頚腕検診を受けて）	11月8日	中止
9）ロールプレイ③④ ◆	11月28日 29日	中止 11名
10）手話通訳技術①②　…聞き取り・読み取り技術 ◆	1月12日 13日	10名 7名
11）司法研修①　※一般公開 ◇ 講師：甲南大学特別客員教授 渡辺顕修氏	2023年 1月28日	43名
12）司法研修②　※手話通訳者のみ対象（道内専通含む） ◇ 講師：甲南大学特別客員教授 渡辺顕修氏	1月29日	26名
13）司法書士による研修会 ◆	2月13日	21名
14）専従手話通訳者による出張報告 ◆	2月20日	14名
15）講演「日本の手話は一つじゃないの？」 講師：豊橋技術科学大学特任教授 加藤三保子氏 ◇	3月4日	39名
16）「2021年度 統一試験に挑戦しよう！」 ◆	3月27日昼 3月27日夜	13名 22名

2022年度　コミュニケーション支援課　　出張一覧

研　修　内　容　　人　数	月　日
1）2022年度 意思疎通支援担当者研修会 （リモート）1名	7月26～27日
2）聴覚障害者の精神保健福祉を考える研修会2022（リモート） 聴覚障害者の人権を守る精神医療 ～受診から入院－地域移行まで～ 1日目のみ3名	8月6～7日
3）第55回全国手話通訳問題研究集会 ～サマーフォーラムinいばらき～　（リモート）3名	8月20～21日

4）第48回全道ろうあ者相談員・第45回全道専任手話通訳者研修会 6名	10月13～14日
5）2022年度 手話奉仕員・手話通訳者養成担当講師ブロック研修会 【北海道】（札幌市）3名 ウェブ研修 11月26日～12月24日(通訳者は2023年1月3日迄)＋Zoom研修	12月18日

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

（１）2022年度の現任研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大が落ち着かないが、おおむね予定通りに実施した。登録手話通訳者へは出欠連絡をお願いしているが、半数以上の方から連絡がない。通訳派遣後の報告書を基に研修内容を企画した、事例検討やロールプレイは重視している。通訳者は集団での研鑽が必須であり、研修の参加については、個々が意識し考えてもらいたい。

（２）コロナ禍の影響により、年間予定のうち3回が中止となった。年に一度の市登録手話通訳者懇談会は、市側との貴重な意見交換の場であり、リモート開催も提案したが、市の判断は難しいということであった。但し、登録手話通訳者へは市に対する意見を求め、４名より提出があり市へ報告した。健康学習会は、手話通訳者の健康診断を担当する勤医協札幌病院医師若葉金三氏の体調により退任され、11月ロールプレイ②については、感染者が急増したこともあり開催を見合わせた。

４．札幌市登録手話通訳者認定証授与式他・新登録手話通訳者研修会の開催

登録手話通訳者認定証授与式、後日、オリエンテーションを開催して札幌市登録手話通訳者派遣事業実施要綱や派遣事業におけるコーディネート業務の内容、事務処理等について、配付資料を基にして説明を実施する。

また、研修会としては、コロナ禍前と同じように、「報告書の書き方」「模擬通訳」「通訳経験交流」の3回とも実施することができた。

期　間：2022年4月～2023年3月
会　場：市視聴覚障がい者情報センター
対象者：2022年度札幌市登録手話通訳者に認定された者

（１）新登録手話通訳者状況

区　分	2021年 一次試験合格者	市外より転入	在札有資格者	合計
新登録者数	8名	1名	0名	9名

（２）研修会等の内容及び日程

研修内容	月日
認定証授与式　／　札幌市・札聴協手話通訳者派遣事業説明会	4月1日
研修会１）新登通オリエンテーション 「報告書の書き方」…通訳行為の振り返り等の確認と意見交換	4月8日
研修会２）「模擬通訳」	4月18日
研修会３）「通訳経験交流」	5月27日

（３）手話通訳者状況報告　　（2023年3月31日現在）　　（単位：名）

	2020年度	2021年度	2022年度
専従手話通訳者	10	10	9
登録手話通訳者	58	53	62
(内、当該年度養成講座修了者)	(2)	(1)	(2)

５．札幌市手話通訳者の頸肩腕症候群等を防止する健診の実施

期　間：2022年4月～9月
場　所：札幌ワーカーズクリニック
対象者：登録手話通訳者(1回)・専従手話通訳者（年2回・2023年2月結果は含まず)

（１）受診状況

健診対象者	60名	受診者数	52名	受診しない数	8名

※他で受診11名（電話リレー8名、北ろう連2名、盲ろう1名）

（２）診断結果

Ａ　（異常なし）	7名	Ｃ１（要受診）	0名
Ｂ１（要観察）	41名	Ｃ２（要受診・業務対策）	0名
Ｂ２（要注意）	4名		

【手話通訳者養成等運営会議（派遣）】

（１）特殊健康診断結果は、Ａ７名中4名は休止中、前回より改善した方も含めてＢ１が多く、Ｂ２は減少、Ｃ１はいなかった。過去10年間の中でも健康状態は落ち着いている結果であった。

（２）2022年度の健康学習会は、若葉医師と調整を図り一度延期をしたが、再調整は難しく学習会は開催できず、札幌ワーカーズクリニック佐藤医師に打診したが多忙のため健診とセットの学習会は初めて開催できなかった。若葉医師は1988年頃より専通、1998年度より市登通の健診が公費として実施されてから、健診と学習会の講師を担ってきていただいていた貴重な存在であった。2023年に入り退職されたこともあり、今後の健診と学習会の開催については、検討要である。

（３）札幌ワーカーズクリニックへ移行され2年目の健診であった。年度更新時に健診の予約を集約し対応しているが、事務処理後のキャンセルがあり大変な面も多い。登通の中には団体雇用されていたり、電話リレーサービスオペレーターについては、健診が重複しないように注意している。

６．医療手話通訳者派遣事業の実施（勤医協札幌病院委託事業）

専任手話通訳者を勤医協札幌病院へ派遣し、外来診察及び入院治療等を受けているろうあ患者と、医師及び看護師・院内スタッフとのコミュニケーションの円滑化のため手話通訳業務を行なった。

期　間：2022年4月～2023年3月（年間）
業務時間：月・火・水・木・金 9時～12時30分、13時30分～15時
　　第1・3土曜日 9時～12時30分
場　所:勤医協札幌病院
手話通訳者：専任手話通訳者3名・代替手話通訳者10名

（１）実績及び状況報告

①　来院者数及び住居区数（月別）　（単位：名）

区 分	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来院実数	83	68	72	77	83	85	94	109	86	62	60	52	931
白石区	23	12	11	13	17	17	25	24	17	17	16	10	202
厚別区	11	7	10	6	15	9	11	18	11	4	8	4	114
東区	19	20	27	20	25	24	21	20	26	18	16	15	251
豊平区	11	10	12	9	8	17	15	13	8	8	5	10	126
北区	7	8	6	12	9	6	8	17	7	8	10	3	101
西区	0	3	3	5	5	2	6	8	10	1	2	5	50
南区	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	3
中央区	4	2	1	4	1	4	0	4	2	2	2	1	27
手稲区	3	1	1	2	0	3	0	0	2	1	0	3	16
清田区	1	1	1	1	1	0	3	3	1	0	0	0	12
札幌市外	4	4	0	5	1	3	3	2	2	3	1	1	29

②　患者及び新患者の状況　（単位：名）

患 者 数	83	68	72	77	83	85	94	109	86	62	60	52	931
内、新患者数	2	0	1	1	3	0	0	0	2	2	0	0	11

③　来院者数状況（年間）　（単位：名）

区分	2021年度			2022年度		
	来院者数	(内、来院患者数)	(内、新患者数)	来院者数	(内、来院患者数)	(内、新患者数)
通訳件数	650	640	10	626	615	11

④　年代及び性別の状況　（単位：名）

区分	19才以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80才以上	非該当	合計
男性	0	2	3	8	31	73	157	94		368
女性	0	1	13	71	76	111	231	71		574
非該当									12	12
合計	0	3	16	79	107	184	388	165	12	954

⑤　来院者の受診科他別状況（年間）　（単位：件）

受診科	通訳件数	受診科	通訳件数	受診科	通訳件数	
内　科	385	眼　科	194	手　術	1	合　計
整形外科	88	外　科	22	検　査	67	
耳鼻科	50	神経科	12	その他	301	
産婦人科	25	労衛科	3	(内、電話通訳)	5	
小児科	14	健　診	103	(内、受付等通訳)	78	1,347
		ワクチン	82			

⑥　入院患者数及び受診科別状況（年間）　（単位：件）

区分	入院患者数	通訳件数				
		手術	病棟	病棟外診察	その他	合計
件数	2	0	25	3	6	34

⑦　2022年9月末で神経科閉診。
　2022年12月末で労働衛生科閉診。
　通院していた患者の転院先は確保できた。
⑧　転居や高齢で通院が困難になり、自宅や施設近くの病院に転院した患者が5名いた。

（２）体制

	月	火	水	木	金	第1・3土
A	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	休
B	9:00～15:00	休	休	9:00～15:00	9:00～12:30	休
C	休	10:30～15:00	9:00～15:00	休	休	9:00～12:30

①　専任手話通訳者の欠員状態が続いているため体制は2021年度と変わらず。午前中１名の時間帯も解消できず。通常の体制と比較すると年間611時間の不足となっている。
②　10名の代替手話通訳者が登録していたが、仕事や体調・家庭の都合の他、コロナ禍もあり稼働できる人が限られ確保が難しかった。

（３）新型コロナ関係
①　ワクチン接種関連対応件数
　　案内・予約・問い合わせ等　→　87件
　　接種　→　72件
②　接種回数を重ねても、予診票の記入が難しい患者も多く、接種後の待機時間を含めると対応時間が長くかかった。
③　長引く感染状況により、病院の対応にも変化があった。有症状患者の対応をする「発熱外来」では、手話通訳者も N95マスクを使用することになった。

７．札幌聴覚障害者協会手話通訳者派遣事業の実施（独自事業）
　札幌市手話通訳者派遣事業実施要綱に適用しない行政、企業、司法機関、団体等からの依頼に基づき、手話通訳者を派遣した。

　期　間：2022年4月～2023年3月（年間）
　場　所：札幌市内及び近郊
　受　付：手話通訳者派遣室

（１）派遣事業の実績及び近況報告

年度 / 区分	2021年度					2022年度						
	依頼件数	派遣人数			派遣時間	依頼件数	派遣人数			派遣時間	取り消し	確保不可
		計	専通	登通			計	専通	登通			
企　　業	19	20	17	3	28:25	18	22	16	6	35:30	3	6
司　　法	23	36	30	6	83:10	10	15	13	2	33:45	1	0
内　弁護士	5	5	5	0	9:05	1	1	1	0	2:50	0	0
内　警察署	8	15	9	6	41:40	5	8	7	1	16:30	1	0
内　検察庁	7	11	11	0	24:40	1	2	1	1	3:20	0	0
内　裁判所	3	5	5	0	7:45	3	4	4	0	11:05	0	0
内　刑務所	0	0	0	0	0:00	0	0	0	0	0:00	0	0
各種集会関係	83	126	49	77	303:50	107	194	57	137	478:10	15	0

内　社会生活教室	31	36	5	31	66:40	21	42	1	41	88:55	0	0
大　　学	0	0	0	0	0:00	1	0	0	0	0:00	1	0
組　　合	15	26	5	21	81:55	21	35	10	25	94:10	2	3
政　　党	17	32	23	9	44:50	15	27	10	17	48:05	0	0
放 送 局	63	104	98	6	109:30	39	58	55	3	73:50	4	2
そ の 他	61	124	118	6	196:00	46	83	77	6	127:10	0	1
合　　計	281	468	340	128	847:40	257	434	238	196	890:44	26	12

（２）派遣分野の状況報告

①コロナ禍も徐々に収束に向かい、市長会見は定例19回・臨時1回であったが、2022年度からは、契約が追加され質疑応答も実施してきた。他には、各種集会や研修会等は、リモート開催が定着してきているが、申請時に事前の打ち合わせや確認が必要である。2023年度も引き続き、映像の取扱いや情報保障の予算等について調べ検討していきたい。

②第56回全国ろうあ者体育大会が2022年9月16日～18日石狩地域で開催された。北海道ろうあ連盟と相互協力し大会ではのべ65名の手話通訳者が稼働した。全国規模の大会であり、休止中の通訳者も稼働したが、その後の稼働にはつなげることができなかった。

③成人の日の行事は、コロナ感染拡大が始まった2021年度は一部、2022年度は、感染防止が徹底され会場や時間の配慮もされる中、全区の手話通訳者の配置に対して予算が組まれることになった。

④政治分野では、6月参議院議員選挙や、2023年4月統一地方選挙（知事・市長・道議・市議）に対しても年明けより申請が集中し始めた。特に、車両運動員登録を求める政党の対応やそれ以外も多く、派遣通訳者の人材も限られている。士資格者であっても政見放送研修会を受講していないと稼動はできず、専門研修の必要性を周知している。

（３）手話通訳者状況報告　　（2023年3月31日現在）　　（単位：名）

	2020年度	2021年度	2022年度
専従手話通訳者	10	10	9
登録手話通訳者	104	89	90
(内、市登録手話通訳者)	(64)	(58)	(53)
(内、当該年度養成講座修了者)	(5)	(3)	(3)

８．札幌聴覚障害者協会手話通訳者現任研修会の開催

市手話通訳者と札聴協手話通訳者合同現任研修会（2015年度開始）とし、手話通訳者の資質・技術の向上及び情報交換等を行なうため開催した。

期　間：2022年4月～2023年3月（年間22回）
会　場：市視聴覚障がい者情報センター
対象者：札幌聴覚障害者協会登録手話通訳者

（札幌市派遣事業と合同の現任研修は〖公１〗手話通訳者派遣・手話普及事業に記載）

研修内容	月　日	出席者数	
		登通	専通
1）技術研修　‥場面通訳	8月16日	3名	2名
2）司法研修 講師：甲南大学特別客員教授 渡辺顕修氏	2023年 1月28日	39名	4名
3）司法研修 講師：甲南大学特別客員教授 渡辺顕修氏	1月29日	22名	4名
4）講演「日本の手話は一つじゃないの？」 講師：豊橋技術科学大学特任教授 加藤三保子氏	3月4日	35名	4名

（自主研修のため出欠連絡、交通費の支給はない）

手話通訳者会議（自主）	月　日	出席者数	
		登通	専通
1)通訳場面　医療・教育	6月3日	10名	2名
2)通訳場面　労働・社会生活	10月14日	5名	2名
3)通訳場面　講演会・式典	2月3日	5名	1名

（１）手話通訳者会議（2014年度開始）

自主研修は例年少人数の出席であり、今年度は、新登録通訳者の出席により、初回は10名を超え、活発な意見交換となった。

（２）司法場面における手話通訳者研修（2010年度開始）

2年振りに来札した渡辺氏が、対面で講演と技術研修を行った。研修内容については、主に札幌が担当し、事前にリモート会議を4回行い、北海道ろうあ連盟との共催とした。1日目の講演は、ハイブリッド形式で実施。2日目は、対象を手話通訳者（市外専通含む）とし、司法の専門知識と技術の学習をした。

（３）手話言語に係る専門研修会（2013年度開始）

4年振りの来札となった加藤氏と、事前に札幌の現状も含め相談した結果、「日本の手話は一つじゃないの？」というテーマで講演会を実施した。日本手話と日本語対応手話について、正しく理解することができ、2月末日に文部科学省ホームページで紹介された全日本ろうあ連盟の「手話の捉え方」についても情報提供がされた。特にろう者の参加者からも内容はとてもわかりやすかったと好評であった。

Ⅱ 手話通訳者養成講座の開催

１．2022年度手話通訳者養成事業の開催

手話による日常会話が可能な手話技術を有する市民を対象に、通訳技術の習得及びろう者とのコミュニケーションを図り円滑な社会生活に寄与するため必要な知識の習得を目的に、ろう者に対する理解を深め手話通訳者を目指す者を養成する講座を開催した。

カリキュラム以外に『突破！統一試験学習会』（3回）の実施を手話通訳者全国統一試験（一次試験）の合格を目的として行った他、手話技術を学習する特別講座（2回）も3年振りに実施した。受講生の指導方法について

は、講師節会議で確認しながら進めている。理論講義は、コロナ禍においてはＤＶＤやリモートを活用してきたが、2022年度は全て対面で実施できた。コロナの感染への懸念や個人的な事情により長期間欠席する受講生もいたため人数は減少した。

期　間：2021年度クラス2年目　2022年4月6日～12月5日(36回)
　　2022年度クラス1年目　2022年5月18日～2023年3月29日(47回)
回　数：実技72回（内通訳Ⅰ課程32回 通訳Ⅱ課程30回 通訳Ⅲ課程10回）
会　場：市視聴覚障がい者情報センター

（１）定員・受講者及び修了者の状況　（単位：名）

	定員	応募者数	受講者数	修了者数	修了率
2019年度	15	16	14	8	57.1%
2020年度	15	16	13	5	38.5%
2021年度	15	13	8	4	50%
2022年度	15	22	15	継続中	継続中

（２）2021年度クラス（2021～2022年度・2年目）

①通訳Ⅱ課程

月　日	内　　容
4月6日～4月27日	第10～13講座　聞き取り通訳
5月18日・5月25日～8月17日	第14～27講座　場面通訳・事例検討
8月24日～9月7日	第28～30講座　ロールプレイ

講師：8名（札聴協講師4名　専通講師4名）

②通訳Ⅲ課程

月　日	内　　容
9月14日	第1講座　通訳のやり方・あり方を考えよう
9月21日～10月5日	第2～4講座　事例検討とロールプレイ
10月19日～11月25日	第5～10講座　手話通訳実習1～6

講師：8名（札聴協講師4名　専通講師4名）

③理論講義　4回

月　日	講義内容	講　　師
5月11日	手話通訳の理念と仕事Ⅱ	渋谷　悌子 （専従手話通訳者）
7月13日	手話通訳者登録制度の概要	渋谷　雄幸 （札幌聴覚障害者協会理事長）
8月19日	聴覚障害児の言語発達とろう教育	宇野 宏之祐 氏 （北海道札幌聾学校教頭）
10月12日	手話通訳者の健康管理	佐藤 修二 氏 （札幌ﾜｰｶｰｽﾞｸﾘﾆｯｸ院長）

④2021年度修了時アンケート結果

・事例検討やロールプレイが難しく、新聞や物語の要約表現等の予習に苦労したという意見が多かった。
・聞き取り通訳は、通訳Ⅰ課程ではついていくのが難しかったが、徐々にできるようになったこと、日本語順ではなく意味に合った適切な手話表

現を考える習慣がついた。読み取り通訳は、場面に合った日本語の選択を意識する等、手話通訳力の向上を自覚する意見が見られた。

・課題としては、コロナ禍の影響もあり行事や交流の場が減少しているため、ろう者との関りが持てない。手話サークル・通研への入会及び活動の必要性は講師が受講生に講義の中で伝えている。

（３）2022年度クラス（2022～2023年度・1年目）

①通訳Ⅰ課程

月　日	内　　容
5月18日～6月29日	第1～7講座　　基本文法の復習
7月6日	第8講座　　手話通訳の現場から学ぼう
7月13日～8月3日	第9～12講座　身近な場面通訳
8月10日～8月31日	第13～16講座　要約
9月2日～10月5日	第17～21講座　読み取り通訳
10月12日～10月19日	第22～23講座　手話を見て要約
10月26日・11月2日～11月25日	第24～28講座　聞き取り通訳
12月7日～2023年1月18日	第29～32講座　場面通訳

②通訳Ⅱ課程

1月25日～2月1日	第1～2講座　話を聞いて要約
2月8日～2月22日	第3～5講座　手話を見て要約
3月1日・3月8日～3月22日	第6～9講座　読み取り通訳
3月29日	第10講座　聞き取り通訳

講師：15名（札聴協講師8名 札通研講師2名 専通講師5名）

③理論講義 5回

月　日	講義内容	講　　師
7月8日	身体障害者福祉概論	森岡　祥広　氏 (市障がい福祉課在宅福祉係長)
9月14日	手話通訳の心構え	山田　幸雄 (専従手話通訳者)
10月28日	ソーシャルワーク概論	田村　里子　氏 (WITH医療福祉実践研究所)
11月30日	手話通訳の理念と仕事Ⅰ	渡辺　聡子　氏 (登録手話通訳者)
3月3日	ことばの仕組み	加藤　三保子　氏 (豊橋技術科学大学)

④2022年度通訳Ⅰ課程アンケート結果

・講座の進み方や教え方は現状で良いとの回答が多いが、よく理解できない、わからないとの意見も少数あった。

・講座での学習を通して手話の力が向上したという回答では、学んだことを意識することになり手話表現の幅が広がった、手話の文法を意識するようになったとあった。

・トレーニング用に貸し出しているシャドーイング用DVDを活用出来ている受講生（全体の3分の１）は、効果を感じているとの回答があり、自宅学習としては今後も引き続き活用を促していく。
・コロナ禍の影響もあるが、講座以外で手話を使う時間は少なく、ろう講師以外のろう者との交流を増やす必要性があり、札聴協行事への参加、地域や通研等の団体紹介等情報提供を行っている。

２．手話通訳者養成講座の講師に対する研修及び会議等の実施
会　場：市視聴覚障がい者情報センター
（１）2021年度クラス（2021～2022年度・2年目）
手話通訳者養成講座の講師に対する研修及び会議等の実施
①節会議・評価会議・反省会

区分	節会議	評価会議	反省会
通訳Ⅱ課程	①　4月28日 ②　8月4日	7月19日	書面開催※
通訳Ⅲ課程	8月26日※	12月12日	

※通訳Ⅲ節会議後に、通訳Ⅱ反省会を含めた内容で書面決裁とした。
（２）2022年度クラス（2022～2023年度・1年目）
①4月4日（月）　事業説明会・選抜試験打ち合わせ会
②4月14日（木）　受講者選考試験・面接試験（一日目・夜間）
4月15日（金）　受講者選考試験・面接試験（二日目・昼間）
③5月31日（火）　講師研修会「指導のポイント①」
④2023年3月10日（金）　講師研修会「指導のポイント②」
⑤節会議・評価会議・反省会

区分	節会議	評価会議	反省会
通訳Ⅰ課程	①　4月25日 ②　9月20日	12月19日※	2023年2月10日
通訳Ⅱ課程	12月19日※	―	―

※通訳Ⅱ課程評価会議後に引き続き通訳Ⅲ課程節会議を実施。

【手話通訳者養成講座講師団】
ろう講師は札聴協、聞こえる講師は札通研が推薦する者、または専通が講座を担当し調整して進めた。2020年度より一部導入したリモートは、2022年度は一部の理論講義のみで活用し、他実技指導はすべて対面講座を実施できた。尚、全国手話研修センター主催の2022年度手話奉仕員養成担当講師ブロック研修会【北海道】（ウェブ研修+zoom研修）については、聞こえる講師2名を出張とし、講師研修会にて報告・情報共有をしている。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】
（１）新型コロナウイルス感染症対策は3年目となり、リモート講座の導入にも慣れ、機器の接続や準備等はスムーズである。但し、情報センターのインターネット環境が不安定であり、機材の補填も含め、改善を申し入れているが現状は変わらない。2022年度からは新規購入したノートパソコンを活用して対応している。
（２）2021年度受講生は定員割れであったが、2022年度受講生は申込者が増加し、定員に達して開講することができた。毎年養成講座の申し込み時期に

は、札聴協登録手話通訳者（無資格）及び過去養成講座受講生へ呼びかけをしているが確保には苦慮している。

３．「2022年度札幌市登録手話通訳者認定試験学習会」の開催(独自事業)

手話通訳者全国統一試験に挑戦する受験者のために要約及び場面通訳に絞って学習会を開催した。2022年度は、北海道ろうあ連盟から共催を2回として実施した。

期　間：8月5日（金）9月2日（金）10月7・21日（金）11月19日（土）
会　場：市視聴覚障がい者情報センター
対象者：受験者及び受験を考えている者
結　果：8月5日 4名　　9月2日 7名　　10月7日 19名 ・ 21日 14名
11月19日 11名
学習会の内容としては、試験科目を考慮して、翻訳（手話表現・読み取り）技術、場面通訳等に絞って実施した。

Ⅲ 手話奉仕員養成講座の開催

聴覚障害者に対する理解を深め、手話の普及並びに手話奉仕員を目指す者を養成した。

１．手話講習会（入門）事業（札幌市委託事業）

（１）2022年度札幌市手話講習会の開催

聴覚障害者に対する理解を深めることと、手話で初歩的な日常会話ができることを目的とした講習を開催した。

札幌市内10区の会場にて、新型コロナウイルス感染防止対策として定員を部屋の定員の50％程度に削減。また、選挙により、例年より狭い部屋への変更もあり、更に削減せざるを得なかったが、3年振りに全て講座を対面で開催することができた。

期　間：2022年5月16日（月）～10月31日（月）(21回)

①定員・受講者及び修了者の状況　　（単位：名）

	中央A	中央B	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
当初定員	30	30	35	40	40	30	30	30	30	35	30	360
削減後定員	30	30	20	40	20	25	30	30	20	20	15	280
申込数	49	39	83	88	59	53	35	25	39	64	34	568
受講決定	30	30	20	40	20	25	30	28	20	20	15	278
修了者	17	20	16	31	9	19	17	19	16	16	10	190

	定員	応募者数	受講者数	修了者数	修了率
2021年度(動画併用)	255	511	203	118	58.1％
2022年度(対面)	280	568	278	190	68.3％

②実技（18回）（毎週月曜日）

5月16,23日	開講式 第1･2講座　表現基礎演習
5月30･6月6,13,20･7月4,11日	第3～8講座　自己紹介

7月25日	第9講座　自己紹介～まとめ～
8月1,8日,22,29日･9月5,12,26･10月3,17日（※8月22,29日･9月5日のうち1回は理論（出前）講義）	第10～17講座　話してみましょう
10月24日	第18講座　総まとめ

③理論講義（合同・出前）（2回）
・6月27日（月）「聴覚障害の基礎知識」※コロナ対策のため、2カ所で開催
【1】札幌市社会福祉総合センター　大研修室
講師　福島太郎氏（札聴協理事）
【2】札幌市視聴覚障がい者情報センター　大会議室
講師　若浜ひろ子 氏（札聴協理事）
・8月22日（月）中央区・豊平区・手稲区会場
8月29日（月）北区・厚別区・南区会場
9月 5日（月）東区・白石区・清田区・西区会場
「手話の基礎知識」

中央区Ａ・東区会場	講師	京野大樹 氏	（札聴協常務理事兼事務局長）
中央区Ｂ会場	講師	高嶋正博 氏	（札聴協副理事長）
北区・白石区会場	講師	金原浩之 氏	（札聴協理事）
厚別区会場	講師	宮内博子 氏	（札聴協理事）
豊平区・南区会場	講師	若浜ひろ子氏	（札聴協理事）
清田区会場	講師	佐藤正昭 氏	（札聴協理事）
西区会場	講師	越智　誠 氏	（札聴協理事）
手稲区会場	講師	中　和彦 氏	（札聴協副理事長）

④修了式　10月31日(月)　※コロナ対策のため、時間をずらして2カ所で開催
【1】札幌市社会福祉総合センター　大研修室
【2】札幌市視聴覚障がい者情報センター　大会議室

（２）手話講習会の講師・助手に対する研修及び会議等の実施
① 4月11日（月）事業説明会　市社会福祉総合センター
② 4月11日（月）合同講師補助講師研修会　市社会福祉総合センター
「手話奉仕員のテキスト概要と指導ポイント」
講師　若浜ひろ子氏（札聴協理事）
③ 5月 9日（月）各区講師補助講師打ち合わせ 各区会場
④ 7月22日（金）講師補助講師節会議　市視聴覚障がい者情報センター
⑤11月 7日（月）各区講師補助講師反省会　各区会場
⑥11月28日（月）全体講師補助講師反省会　市社会福祉総合センター

（３）手話講習会プレ体験会の開催　※落選者を対象として開催
①7月14日（木）札幌市社会福祉総合センター　大研修室
講師　渋谷雄幸氏（札聴協理事長）
②7月28日（木）札幌市社会福祉総合センター　大研修室
講師　若浜ひろ子氏（札聴協理事）

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】
（１）若年層の申込者を増やすため、市内各大学へポスター・チラシを郵送す

る等、市の協力もあり、周知・啓発を行っている。また、コロナ禍により動画を活用した講座に切り替えた2020～2021年度の受講者に限っては、2022年度の再応募を認めている。

（２）コロナ感染症拡大を考慮し、やむなく各区会場定員の50％程度に削減、また、選挙のため部屋の変更に伴う定員削減の会場もあり、最終的に257名が落選となった。感染防止対策としては、ソーシャルディスタンス・換気・消毒を徹底し、合同講義と修了式は会場を2カ所に分け、開始時間を30分ずらして実施した。

（３）落選者が多数となったことで、急遽、市側と協議して、落選者へ再度周知し希望者には「プレ体験会」を2回実施した。

２．中級手話講習会（基礎）事業

（１）2022年度札幌市中級手話講習会の開催（札幌市委託事業）

手話で日常会話を行なうのに必要な手話語彙及び手話表現技術を習得し、聴覚障害、聴覚障害者の生活及び関連する福祉制度などについての理解と認識を深め、地域で活動する人材の育成を図るための講習を開催した。

期　間：2022年5月19日（木）～2022年11月24日（木）（26回）

会　場：市視聴覚障がい者情報センター

①定員・受講者及び修了者の状況　（単位：名）

	定員	応募者数	受講者数	修了者数	修了率
2020年	50	64	50	42	84%
2021年	50	36	34	23	67.6%
2022年	50	38	36	28	77.7%

②受講者の住居区分状況　（単位：名）

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	合計
申込者	7	5	2	1	4	5	0	4	6	3	38
受講者	7	5	2	0	4	5	0	4	6	3	36
修了者	5	4	2	0	3	4	0	4	4	2	28

※合格通知後、コロナ感染を懸念しての辞退2名あり

③開講式　5月19日（木）

④実技（毎週木曜日）

月　日	内　　容
5月19日～9月22日	第19～34講座　基本文法
9月29日～10月6日	第35・36講座　総合練習Ⅰ
10月20日～11月17日	第37～40講座　総合練習Ⅱ・まとめ

講師：10名（札聴協推薦講師6名　札通研推薦講師3名　専通1名）

⑤理論講座

・5月19日(木)「ボランティア活動」　講師：三神久子氏（中級手話講習会担当講師）

・7月28日(木)「障害者福祉の基礎」　講師：荒木　駿氏（札幌市障がい福祉課在宅福祉係）

・10月13日(木)「聴覚障害者活動と聴覚障害者福祉制度」　講師：新田由香氏・太田利実氏（中級手話講習会担当講師）

⑥修了式・講評・反省会　2022年12月7日（木）

（２）中級講習会の講師に対する研修及び会議等の実施

会　場：市視聴覚障がい者情報センター

①4月 7日（月）　事業説明会

②4月11日（月）　合同講師助手研修会　「奉仕員養成課程のねらい」

③5月13日（金）　講師研修会「指導技術」

④節会議・評価会議・反省会

内　容	日　　程			
節会議	①4月13日（水）	②6月15日（水）	③6月15日（水）	④9月7日　（水）
講師反省会	2022年12月7日　（水）			

【中級手話講習会講師団】

2022年度はろう講師6名、聞こえる講師4名、奉仕員担当専通を担当としている。ろう講師には、市手話講師育成講座修了者1名を新たに加え、講師配置や講師間のフォロー等に配慮し、相互協力しながら進めることができた。

2022年度も定員を下回ったが、2グループ制・講師配置も例年通りとしたことで、丁寧な指導を心がけている。

尚、全国手話研修センター主催の2022年度 手話奉仕員養成担当講師ブロック研修会【北海道】（ウェブ研修＋zoom研修）については、担当講師に希望を聞き、聞こえる講師1名の出張となった。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

（１）市内のコロナ感染者数が急増した時期もあったが、基本的な感染症対策を継続し、講座時間の短縮や動画配信等の活用もなく、予定通り最後まで実施した。

（２）第39講座では、ろう講師以外のゲストろう者に協力をお願いしており、受講生はろう者の自然な手話を見て、会話し交流することができた。自らの手話表現が通じない時には、身振りで工夫して伝えようとする努力が窺えた。受講生のアンケートより「表情に気をつけるようになった」「８ポイントを意識するようになった」「以前より読み取りが出来るようになった」等、手話表現や読み取りの技術が向上したと答えた受講生が多かった。

（３）手話サークル未加入の受講生が多いので、講師から地域活動を通して手話やろう者の障害に理解を深めるようにとアドバイスをしている。

【情報・コミュニケーション部】

（１）手話講習会について

2020年度から2年間、新型コロナウイルス感染拡大が続いたが、2022年度札幌市手話講習会は、各区会場において、3年ぶりに全講座対面で開催ができた。コロナ拡大に備え受講定員を削減して280人としてスタートし、最後まで不安ではあったが、細心の注意を払い無事に対面でできた。

定員削減のため落選者が多く、落選者対象の「プレ体験会」を２回開催した。2018年度より講師・補助講師の体制に変わってから５年目になり、各区講師同士で協力し合って取り組むことができたが、高齢化に伴い、講師が不足する区が出ており、後継者の育成が課題となっている。

（２）中級手話講習会について

３年ぶり全講座開催することができた。「手話講習会（入門）」2020年と2021年のコロナ禍の影響で募集人数を下回り定員割れとなった。
ほとんど動画講座のみで学んだため入門の基本が十分身についてない者がいて、力量に差が出ていたが、指導方法を工夫しながら行った。人数が少なかった分、講師の目が行き届いた指導が出来た。

（３）手話通訳者養成講座について

各講習会と同様に全講座開催ができた。対面授業の際は、感染防止に配慮しながら進めた。講師担当との情報メール共有に努めた。
手話通訳者が足りない状況が続いている中、手話通訳者の養成が急務となっている。

（４）講座全般について

各講座講師たちは掛け持ちが多く、ろう講師を担う人材が減少したため、不安がある。今後資質ある人材の確保に向けて、講師育成講座、内容の充実、改善を図り、経験豊かな人材の確保に取り組んでいく。

（５）専門部会議について

各区情報コミュニケーション部会議はオンライン会議をせず、対面会議10回を行い、LINEグループ情報交換できた。

ろうあ者と聞こえる人が触れ合う機会が少なく、手話が薄れてしまうことへの不安があったが、コロナ禍が落ち着いてきて各区手話サークルも少しずつ再開するようになり、会員が増えている。今後、各支部と手話サークルとの連携を強化し、札通研と札サ連と共に情報を共有しながら個々の課題把握に努めることが必要である。

Ⅳ 札幌市手話通訳者養成等運営会議（派遣・養成）

構　成：札幌市障がい福祉課・札幌聴覚障害者協会・札幌手話サークル連絡協議会・札幌手話通訳問題研究会
期　間：2022年4月～2023年3月（8月除く月1回開催）時間 19：00～20：45
会　場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月 日	区分	主な内容	人数
1	4月21日	派遣	派遣状況、登通状況について	12名
2	5月19日	養成	各講座の申込･選考状況、講師割り振りについて、現任研の報告	12名
3	6月16日	派遣	派遣状況　苦情対応について	12名
4	7月21日	養成	各講座の進捗状況、手話講師育成講座、手話通訳者現任研修会について	13名
5	9月15日	派遣		中止
6	10月20日	養成	各講座の進捗状況、育成講座、手話通訳者現任研修会、全国統一試験及び学習会について	11名
7	11月17日	派遣	派遣状況、登通状況について	9名
8	12月15日	養成	各講座の進捗状況、来年度講座に向けて、手話通訳者現任研修会、全国統一試験について	10名
9	2023年 1月19日	養成	2023年度各講座に向けて、養成･育成講座の進捗状況、統一試験、現任研修会について	11名
10	2月16日	派遣	派遣状況、関係機関との連携について	10名

11	3月16日	養成	2023年度各講座の申込状況、育成講座の修了、現任研修会の状況、コロナ対策について	13名

※2022年度は、市はリモート参加。

【養成事業】出席者
札幌市：障がい福祉課　森岡祥広係長、荒木駿職員
札サ連：鍛治由佳子副会長、三上基子会計部長
札通研：太田利実副運営委員長、佐藤薫会計次長
札聴協：中和彦副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、若浜ひろ子理事、福岡静枝理事
担当職員：渋谷悌子課長、佐藤有香係長、事業担当者

【派遣事業】出席者
札幌市：障がい福祉課　森岡祥広係長、荒木駿職員
札通研：太田利実副運営委員長、佐藤薫会計次長
札聴協：渋谷雄幸理事長、高嶋正博副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、若浜ひろ子理事
担当職員：渋谷悌子課長、金原さとみ係長、佐藤有香係長、事業担当者

Ⅴ 手話教室の開催

手話を社会一般に広めるとともに、それを使用する聴覚障害者についての知識や理解も深めてもらうために次の事業を行なった。

１．手話教室事業の開催（独自事業）

（１）はじめての手話教室

手話の学習経験がない者を対象に、聴覚障害者の生活・文化等を理解するとともに手話で簡単な日常会話ができるようになることを目的として日中に手話教室を開催した。

① 第41回はじめての手話教室（入門）
期間：2022年4月8日（金）～9月9日（金）（全20回）
会場：市視聴覚障がい者情報センター
対象：手話講習会の経験ない者、初心者
受講人数：受講生８名（修了生６名）

②第42回はじめての手話教室（入門）
期間：2022年9月30日（金）～2023年2月24日（金）（全20回）
会場：市視聴覚障がい者情報センター
対象：手話講習会の経験ない者、初心者
受講人数：受講生８名（修了生６名）

（２）フォローアップ手話教室

手話奉仕員養成カリキュラム「入門課程」を再度学びなおし、聴覚障害者に対する理解と手話での日常会話技術を深める手話講座を開催した。

①第19回フォローアップ手話教室（昼間）
期間：2022年9月15日（木）～10月13日（木）（全５回）
会場：市視聴覚障がい者情報センター
対象：手話奉仕員養成カリキュラム「入門課程」の修了者
受講人数：受講生８名（全出席５名）

②フォローアップ手話教室（夜間）
期間：2023年1月16日（月）～2月13日（月）（全５回）
会場：市視聴覚障がい者情報センター
対象：手話奉仕員養成カリキュラム「入門課程」の修了者
受講人数：受講生26名（全出席20名）

（３）第16回中級手話教室（基礎）
入門編で習得した会話技術に加え、基本文法も学ぶことで特定の聴覚障害者とならば日常会話ができるようになるとともに、福祉制度の基礎知識や聴覚障害者の歴史についても理解できることを目的として日中に中級手話教室を開催した。

期間：2022年5月18日（水）～11月30日（水）（全27回）
会場：市視聴覚障がい者情報センター
対象：入門課程の修了者または同程度の力量がある者、手話で簡単な会話ができる者
受講人数：受講生９名（修了生８名）

（４）2022年度はじめての手話教室（医療編～薬局で働く人対象～）
あいさつや接客及び薬局現場で使う簡単な手話を学習するオンライン手話教室を開催した。
期間：2022年7月1日、8日、15日（金）（全３回）
受講人数：受講生８名
対象：調剤薬局関係者

（５）2022年度はじめての手話教室（福祉編～介護・福祉など働く対象～）
申し込み者が最少催行人数に満たなかったため、中止した。

（６）2022年度はじめての手話教室（医療編～病院で働く人対象～）（夜間）
病院の医師・看護師及びスタッフでのあいさつや自己紹介また医療現場で使う簡単な手話を学ぶことで聴覚障害者が少しでも生きやすい、話が通じやすい環境が広がっていくことを目的としたオンライン手話教室を開催した。
期間：2022年11月４日、11日、18日（金）（全３回）
受講人数：受講生７名
対象：病院関係者

（７）2022年度耳がきこえない・きこえにくい方のための手話教室
2022年11月14日～12月26日（月）に開催予定だったが、最少催行人数に満たなかったため、やむを得ず中止した。
対象：きこえない・きこえにくい人

２．札幌市ミニ手話講座（札幌市委託事業）
札幌市から委託を受け手話を学習した事のない一般市民を対象に講座を開催した。
期間：2022年7月～2023年3月（10回）
対象：札幌市民

回数	年月日	会場名	対象	参加人数
第1回	2022年7月23日(午前)	オンライン (札幌視聴覚障がい者情報センター)	小学4～6年の子供・保護者	１組
第2回	8月18日(夜間)		市民	4名(欠席無し)
第3回	8月30日(夜間)		中学生	2名(1名)
第4回	9月20日(午前)	市民交流プラザ	市民	11名(2名)
第5回	10月28日(夜間)	札幌視聴覚障がい者情報センター	市民	18名（3名）
第6回	11月14日(午後)	白石区民センター	市民	15名（5名）
第7回	12月21日(夜間)	オンライン (札幌視聴覚障がい者情報センター)	市民	13名（2名）
第8回	2023年1月19日(午後)		市民	13名（2名）
第9回	2月18日(夜間)		市民	10名（5名）
第10回	3月10日(夜間)	カナモトホール	市民	12名（2名）

＊（ ）当日欠席者数

【手話普及事業担当】

・「はじめての手話教室」「中級手話教室」はコロナ禍の中、３年ぶりに全講座対面で開催できた。
・コロナの影響で申し込み人数が心配されたが、最少催行人数である８名は確保すべく呼びかけ方法などを工夫した。
・はじめての手話教室（医療編）は対象が医療業界の方であるため、対面ではなくオンライン方式で開催した。
・札幌市手話講習会の修了生を対象に、夜間のフォローアップ手話教室を開催、定員を超える申し込みがあったため、10名増員して30名とした。
・札幌市ミニ手話講座は、2020年度からオンライン方式で開催してきたが、今年度は10回のうちの４回を対面方式で開催することができ、申込人数は2021年度より増えた。2023年度も引き続き、オンラインと対面の併用で開催する。参加者の年齢層は幅広く、積極的に学んでいる姿が見受けられ、アンケート結果もおおむね好評である。
・来年度も引き続き、呼びかけ方法などを工夫して、各講座15名以上を目指す。

Ⅵ　手話講師の派遣

聴覚障害者に対する理解とコミュニケーション方法や言語としての手話を教え、聴覚障害者に対する社会一般の認識を深めるために聴覚障害者の講師を派遣した。

１．聴覚障がい・手話啓発事業

期間：2022年4月～2023年3月（年間）
場所：市内各所（学校、企業等）

（１）ボランティア活動センターからの依頼　29件

年 月 日	学校名・企業名等	対　　象	人数
５月11日	月寒小学校	小学校４年(２クラス)	74名
６月２日	大谷小学校	小学校５年(３クラス)	100名

６月７日	信濃小学校	小学校５年(全学年)	99名
６月８日	月寒小学校	小学校４年(２クラス)	74名
６月27日	本郷小学校	小学校５年(２クラス)	50名
６月17日	クラーク記念国際高等学校	エコ・ボラ探究１～３年	18名
６月27日	本郷小学校	小学校５年(２クラス)	50名
６月29日	新発寒小学校	小学校４年(２クラス)	74名
７月５日	真栄小学校	小学校５年(２クラス)	80名
９月６日	みどり小学校	小学校４年(２クラス)	57名
９月12日	北野平小学校(Zoom授業)	小学校４年(２クラス)	44名
９月13日	北陽小学校(Zoom授業)	小学校４年(２クラス)	64名
９月20日	手稲東小学校(Zoom授業)	小学校５年(３クラス)	91名
９月22日	芸術の森小学校(Zoom授業)	小学校４年(２クラス)	79名
９月27日	新陵小学校(Zoom授業)	小学校４年(２クラス)	50名
10月４日	月寒小学校	小学５年（４クラス)	93名
10月７日	南小学校	小学校３年(全学年)	40名
10月11日	新陽小学校(Zoom授業)	小学校５年(３クラス)	94名
11月８日	開成中等教育学校	中学校３年(２クラス)	40名
11月10日	光星中学校	中学校２年(２クラス)	60名
11月18日	北栄中学校	中学校３年(全学年)	30名
12月１日	手稲鉄北学校	小学校５年(３クラス)	98名
12月６日	太平小学校(Zoom授業)	小学校５年(３クラス)	94名
12月９日	みなみの杜高校支援学校	高校１年(２クラス)	56名
12月16日	川北小学校	小学校４年(３クラス)	117名
12月20日	新琴似北小学校(Zoom授業)	小学校５年(３クラス)	78名
12月22日	札苗小学校	小学校５年(２クラス)	71名
１月21日	白石老人福祉センター	一般	20名
１月28日	北白石まちづくりセンター	一般	40名

（２）ボランティア活動センター主催手話講座の講師派遣依頼　５件

年　月　日	講座名	対象	人数
2022年4月19日	手話体験講座	一般	３名
6月2日～7月14日	ボランティアのため入門講座	一般	４名
12月15日	手話体験講座	一般	７名
2023年１月17日～2月28日	ボランティアのため入門講座	一般	６名
6月21日	障がい者講師養成講座（ｵﾝﾗｲﾝ）	身体障害者	３名

（３）直接依頼（企業・団体・他）４件

年　月　日	学校名･企業名等	対象	人数
2022年5月27日(午前)	札幌シニア大学	新1年	35名
5月27日(午後)	札幌シニア大学	新1年	35名

7月22日	札幌医科大学 （会場･オンライン併用）	医学部1年	110 名
2022月7月22日～8月26日	札幌市教育センター （限定公開・オンデマンド）	教職員	100 名

２．手話養成普及事業

（１）講師派遣事業

期間：2022年４月～2023年３月（年間）

場所：市内各所

学校名･企業名等	期間･回数	学科名等対象	人数
札幌聖心女子学院	通年木曜日14回	中学２年（２クラス）	18名
	通年木曜日14回	中学３年（２クラス）	21名
	前期木曜日18回	高校１年	29名
経専学園北海道観光専門学校	前期11回	エアライン科２年	12名
	前期12回	旅行科２年	12名
	後期12回	旅行科１年	10名
	後期11回	ホテルウェディング科２年	16名
経専学園医療事務薬業専門学校	後期15回	医療事務学科２年	5名
	前期15回	薬業学科２年	6名
光塩学園女子短期大学	前期16回	保育科２年（２クラス）	24名
札幌どうぶつ専門学校	前期10回	犬の美容、動物看護、ペットライフ学科２年	40名
三幸学園ブライダル＆ホテル観光専門学校	前期15回	ホテルエアトラベル科２年	25名
西野学園札幌心療福祉専門学校	後期15回	精神保健福祉科１年	16名
	後期15回	精神保健福祉科３年	17名
経専学園北海道保育専門学校	後期前半×８回	こども未来学科３年	17名
	後期後半×８回	こども学科２年（２クラス）	16名
さっぽろ市民カレッジ（ちえりあ）	後期14回	高校生・一般	20名
札幌医科大学	後期12回×２コマ	看護学科・作業療法学科理学療法学科１年	80名
専門学校北海道福祉･保育大学校	1月～3月８回	学生・職員	3～7名
せいとく介護こども福祉専門学校	前期８回×２科	こども福祉科１年（保育・幼稚園教諭コース）	24名
		こども福祉科２年（保育コース）	13名
一番街商店街振興組合レディス会	２回	店員、スタッフ	８名

３．講師・助手研修会開催

「講師・助手事業説明会」を開催した。

日時：2022年4月15日（金）18：30～20：30

会場：市視聴覚障がい者情報センター

対象：講師・助手　15名（ろう者８名・きこえる者７名）

【手話普及事業担当】

・少子化や経営難による専門学校の閉校やカリキュラム変更など、契約終了となる学校も出ている。
・単発講座（小中学校など）の派遣依頼数は、コロナ禍前の数字に戻ってきている。
・専門学校などは2021年度に比べて対面授業での実施が増えたが、一部の学校ではまだZoomとの併用が続いていた。
・ろう講師やきこえる講師および助手の高齢化で、人材確保が厳しい状況。講師・助手ともに登録者の増員と研修会等による研鑽の場が必要である。

Ⅶ 第17回全国手話検定試験の実施

＊試験会場として実施協力（主催：社会福祉法人全国手話研修センター）

（１）面接委員研修（北海道）　Zoom研修【札幌・旭川・釧路・函館】
日時：2022年4月18日（月・祝）9：30～17：05
会場：【札幌会場】市視聴覚障がい者情報センター
出席者：12名（札幌・小樽・美唄・芽室・帯広）、欠席：１名（札幌）

（２）受験者のための学習セミナー
日時：2022年8月27日（土）9：30～16：30
会場：市視聴覚障がい者情報センター
開催級：５級～２級

受講人数

5級	7名	4級	8名
3級	7名	2級	5名

講師および模擬面接委員

講師	ろう	きこえる	通訳
講師	1名	3名	1名
模擬面接委員	3名	5級	-

（３）第17回全国手話検定試験
日時：2022年10月 8日（土）5級・4級
10月 9日（日）3級・2級
10月15日（土）準1級・1級
会場：市視聴覚障がい者情報センター

＊新型コロナウイルス感染の防止対策を行ったうえで、定員を大幅に減らして開催した。

受験者/申込者数（単位:名）

５級	39／42	４級	42／47
３級	40／42	２級	22／24
準１級	4／4	１級	5／5

面接委員：ろう者11名、きこえる者15名
要員　：ろう者20名、きこえる者28名

（４）団体試験　【北海道芽室高等学校】
日時：2022年11月19日（土）9：30～12：30
会場：Zoomホスト【札幌】市視聴覚障がい者情報センター
受験級：５級
受験者：12名、欠席１名
面接委員：１名（ろう者）、要員１名（機器操作、音声、タイム）

（５）インターネットで受験する第17回全国手話検定試験
日時：2023年2月11日（土・祝）５級
2月23日（木・祝）３級
会場：市視聴覚障がい者情報センター

＊オンライン会議システム「Zoom」を活用した面接試験

	５級	３級	合計
受験者/申込者	15／20 名	17／20 名	32／40 名
面接委員	2名	2ペア	6名

＊要員：１名　機器操作・音声・タイムキーパー兼務

【手話検定試験担当】
・道内の他会場から面接委員研修の要望が出たため、４会場合同の研修をZoomを使って行う事になったが、研修センター含め事前打ち合わせや進行の面で多くの課題が浮き彫りとなった。
・会場試験は昨年に引き続き、定員を抑えた小規模開催とし、飛沫防止フィルムやアルコール消毒薬を使用して感染防止につとめた。
・対面型の各種手話講習会やサークル活動が再開された事もあり、受験者の数が増加、級によっては締め切り前に定員に達して受理されなかった方が出た。コロナの勢いがおさまってきたので、次年度は定員を戻したい。
・会場試験に合わせ、３年ぶりに学習セミナーを開催した。初めて試験を受ける方や筆記試験に挑む方には効果があったと思われる。
・十勝管内の高校から、昨年も話が挙がったZoomによる団体試験の依頼が研修センターに入り、北海道ろうあ連盟に確認したうえで札幌が引き受ける事となった。
・インターネット試験は４日程で組まれていたが、会場等の都合でそのうちの２日間協力した。回線トラブルもなく、資格失効が心配されていた面接委員の更新もできたので安堵した。

Ⅷ 手話学習支援アプリの研究開発に伴う協力

ＢＩＰＲＯＧＹ（ビプロジー）株式会社はＡＩ（情報技術）を使った手話翻訳システムを開発しており、区役所での窓口担当者とろう者のコミュニケーションを想定したシナリオ作成及び手話データ採取協力を行った。その後、視聴覚障がい者情報センターおよび北・東区役所での実証実験の協力者募集を行った。
期間：2022年10月～2023年3月
内容：①打合せ（出席：BIPROGY株式会社、札通研、札聴協）
②サンプル撮影（本番撮影のため）
③本番撮影（理事・監事、青年部員・女性部員の協力）

④実証実験（理事・監事・各区支部会員の協力）

Ⅸ 手話通訳者育成指導者養成の開催

1．手話講師育成講座事業（札幌市委託事業）

（１）2022年度手話講師育成講座事業の開催　（2014年度開始）

手話奉仕員と手話通訳者養成事業を担う講師（人材）の確保を確実に進めるため、講習技術の向上を図り適切な講習が可能な講師を増やすことを目的としている。

①手話奉仕員養成課程　定員20名

課程	回数	期間	受講者数	修了者数	修了率
入門課程	4回	11月12日・13日	22名	10名	45.5%
基礎課程	4回	12月4日・2023年1月15日			

講師：渋谷雄幸、若浜ひろ子、佐藤裕介、渋谷悌子、菅原美樹、山田幸雄、佐藤有香

②全課程　　定員20名

課程	回数	期間	受講者数	修了者数	修了率
通訳Ⅰ課程	4回	2月12日・19日	22名	3名	13.6%
通訳Ⅱ課程	3回	3月11日・12日			

講師：渋谷雄幸、若浜ひろ子、佐藤裕介、渋谷悌子、菅原美樹、山田幸雄、佐藤有香

③理論講義（合同）

	講師	実施日	受講者数
ことばの仕組み(手話)	国立民族学博物館外来研究員 川口　聖氏	2月4日	19名
手話通訳の理念と仕事 Ⅰ・Ⅱ	全国手話研修センター推薦講師 江原こう平氏	3月12日	16名

【手話講師育成講座講師団】

講師団は札聴協会員で講座の指導経験が豊富な者、聞こえる講師は専通が担当している。講師会議では、講師の心構え・コミュニケーション力を重視した理論講義を導入してはと提案があり、検討したが調整が難しく、次年度の検討課題とした。2023年度には「奉仕員テキストの改訂版」が発行予定であり、それに伴い指導内容の検討が必要と考える。

【手話通訳者養成等運営会議（養成）】

（１）例年「ことばの仕組み（手話）」を依頼していた筑波技術大学教授大杉豊氏より、2022年度以降は担当が難しいと連絡あり、全国手話研修センターへ相談した。川口氏に講師を受諾していただき、「手話通訳の理念と仕事Ⅰ・Ⅱ」については国立障害者リハビリテーションセンター学院手話通訳学科教官江原氏へ依頼することができた。

なお、川口氏については、講義の内容としても対面での実施が望ましく、コロナ禍の急な依頼にも関わらず来札していただいた。江原氏は都合もあり、受講生は会場に参集し、リモート講座を聴講した。

（２）2022年度後半はコロナ感染者数が減少したこともあり、講座は予定通り実施できた。理論講義は、受講生全員対象であるが、全体の半分以下の出席数であった。講師担当又は予定者には、貴重な学習の場であり、今後の活動に活かしていただきたいので、2023年度は全員が出席できるように、日程を調整していきたい。

X　やさしさっぽろ手話（社会福祉協議会主催）　2016年6月開始

社会福祉協議会との共同で初心者向けの手話講座を開催してきた。
「札幌市障がい者コミュニケ―ション条例」及び「手話言語条例」の制定に向けた取り組みとして開始している。

日　　時：第２・４火曜日（祝日除く）11：30～12：00
※11月～3月は、会場の都合で11：00～11：30
会　　場：社会福祉総合センター　3階会議室等（事前申込・定員制）
対 象 者：主に初心者対象としているが条件等はなく自由参加。
実施内容：基本的な手話単語は6回を1クールをとし、2020年度からは、会話中心の内容としている。

実施年度	実施回数	延べ参加人数	販売書籍
2019（令和元）年	19回	611名	2冊
2020（令和2）年	8回	87名	―
2021（令和3）年	12回	99名	―
2022（令和4）年	24回	416名	―

〖公２〗生活支援事業

I 聴覚障害者支援センターほほえみ

１．地域活動支援センター事業（札幌市補助事業）（定員:15名）
聴覚障害者への理解を深める啓発活動を進め、重複及び高齢の聴覚障害者に対する障害者福祉サービスを提供した。

（１）地域活動支援センターほほえみ西
外出機会が少ない高齢ろう者、重複ろう者、難聴者などの交流と日中活動を支援する

利用時間：（月～水・金・土　10時～15時）
場所：西区二十四軒1条5丁目3-12
内容：交流・教養及び防災訓練等実施、送迎サービス

㋐通所者数・月別(延べ人数)　　（単位：名）

	22年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年1月	2月	3月
男性	101	104	148	151	138	106	139	140	85	97	77	120
女性	62	55	82	91	110	85	95	94	71	63	50	67
合計	163	159	230	242	248	191	234	234	156	160	127	187

㋑各区別・登録者数(延べ人数)　（単位：名）

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	市外
男性	1	4	5	4	4	1	1	1	4	2	0
女性	0	2	4	3	3	0	0	1	2	3	1
合計	1	6	9	7	7	1	1	2	6	5	1

（２）ほほえみ西　年間行事報告　（単位：名）

月日	内容	場所	参加者数				
			利用者	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	職員	その他	合計
2022年 4月20日	お楽しみ会	福祉センター	8	2	3	0	13
4月25日	散歩	農試公園	6	1	3	0	10
5月7日	散歩	佐藤水産宮の森店	7	1	3	0	11
5月17日	学習会	福祉センター	9	3	2	0	14
7月16日	ボウリング交流会	サンコーボウル	7	3	3	0	13
9月14日	外出の日	札幌市資料館	9	1	2	0	12
9月26日	カフェ食事会	ほほえみカフェ	6	1	3	0	10
10月5日	避難訓練	こだま公園他	5	1	2	0	8
10月15日	講演会	ほほえみ西	5	1	3	0	9
10月24日	外出の日	白い恋人パーク	4	1	2	0	7
11月18日	お楽しみ会	福祉センター	13	1	3	0	17
12月23日～ 12月24日	ほほえみクリスマス	ほほえみ西	14	2	2	0	18
2023年 3月14日	西13周年お祝い会	福祉センター	13	3	3	0	19

㋐コロナ対策で社会見学は自粛したが、小人数での外出を企画した。

㋑利用者の現状と今後の暮らしについてのアンケートを行った。

(3)　2023年度に向けての課題

㋐利用者数が年々減少しているため、活動内容を見直し、幅広い世代の利用者を募集する。

㋑ブログとインスタグラムでPR活動の強化を図り、新規利用者とボランティアを増やす。

㋒身体機能低下防止のために健康増進活動をする。

㋓高齢化に伴い、利用者の身体機能の低下や利用者の生活にも変化が出ているため、他施設や家族、各所との連携を密にしていく。

２．就労継続支援事業（指定障害福祉サービス事業）

就労継続支援Ｂ型事業（定員：35名）

障害者総合支援法に基づく就労継続支援Ｂ型事業として、聴覚障害者が安心して働くことのできる作業所の運営を行なった。

（１）利用者数　（単位：名）

	22年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	23年1月	2月	3月
利用者数	37	38	37	36	36	36	38	39	35	36	35	35
延べ利用者数	541	491	568	525	564	505	530	503	483	437	433	516

（２）行事参加状況

新型コロナウイルス感染防止のため社会見学など自粛した。

（３）出店バザー

月日	訪問販売・委託販売・バザー名	場所
2022年4月1日	訪問販売	札幌市産業振興センター
4月7～8日	清田区役所バザー	清田区役所
4月10日	ほほえみ後援会総会	視聴覚障がい者情報センター
４月12日	訪問販売	就労継続支援A型事業所ユニゾン
4月14日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
4月15日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
4月16～17日	札聴協理事会　販売	視聴覚障がい者情報センター
4月20日	訪問販売	かでる2.7
4月22日	訪問販売	和田精密技研株式会社
5月12日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
5月12日	訪問販売	札幌市産業振興センター
5月17日	訪問販売	就労継続支援A型事業所ユニゾン
5月20日	訪問販売	株式会社アイワード
5月24日	訪問販売	和田精密技研株式会社
5月26日	訪問販売	かでる2.7
5月27日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
5月30日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
6月3日	訪問販売	札幌市産業振興センター
6月7日	訪問販売	株式会社アイワード
6月9日	訪問販売	かでる2.7
6月14日	訪問販売	就労継続支援A型事業所ユニゾン
6月16日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
6月19日	札聴協理事会　販売	視聴覚障がい者情報センター
6月21日	訪問販売	株式会社アイワード
6月23日	訪問販売	かでる2.7
6月24日	訪問販売	和田精密技研株式会社

6月28日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
7月1日	訪問販売	札幌市産業振興センター
7月5日	訪問販売	株式会社アイワード
7 月7日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
7月7日～8日	清田区役所バザー	清田区役所
7月12日	訪問販売	就労継続支援A型事業所ユニゾン
7月14日	訪問販売	かでる2.7
7月22日	訪問販売	株式会社アイワード
7月26日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
7月28日	訪問販売	かでる2.7
8月2日	訪問販売	株式会社アイワード
8月5日	訪問販売	札幌市産業振興センター
8月9日	訪問販売	和田精密技研株式会社
8月18日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
8月19日	訪問販売	株式会社アイワード
8月22日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
8月23日	訪問販売	就労継続支援A型事業所ユニゾン
8月25日	訪問販売	かでる2.7
8月26日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
8月28日	札聴協理事会　販売	視聴覚障がい者情報センター
8月31日	委託販売	チャレンジキャンパス
9月2日	訪問販売	札幌市産業振興センター
9月3日	丘珠あおぞら市	（株）Jファーム札幌工場 直売所「ヒカリ札幌」駐車場
9月6日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
9月8日	訪問販売	かでる2.7
9月9日	訪問販売	株式会社アイワード
9月9日	委託販売	あかり家
9月13日	訪問販売	就労継続支援A型事業所ユニゾン
9月15日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
9月16日	訪問販売	和田精密技研株式会社
9月25日	札サ連講演会	視聴覚障がい者情報センター
9月26日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
9月27日	訪問販売	株式会社アイワード
9月29日	訪問販売	かでる2.7
10月6日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
10月7日	訪問販売	札幌市産業振興センター
10月8日	さっされんバザー	札幌ドーム
10月11日～13日	ナイスハートバザール	アリオ札幌

10月14日	訪問販売	株式会社アイワード
10月14日	訪問販売	太平南小学校
10月16日	札聴協理事会　販売	視聴覚障がい者情報センター
10月18日	訪問販売	就労継続支援A型事業所ユニゾン
10月20日～21日	清田区役所バザー	清田区役所
10月24日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
10月25日	訪問販売	和田精密技研株式会社
10月26日	委託販売	あかり家
10月27日	訪問販売	かでる2.7
11月4日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
11月8日	訪問販売	株式会社アイワード
11月10日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
11月11日	訪問販売	札幌市産業振興センター
11月15日	訪問販売	就労継続支援A型事業所ユニゾン
11月17日	訪問販売	かでる2.7
11月22日	訪問販売	太平南小学校
11月23日	札通研販売	視聴覚障がい者情報センター
11月24日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
11月25日	訪問販売	株式会社アイワード
11月27日	合同研修会販売	視聴覚障がい者情報センター
12月2日	訪問販売	札幌産業振興センター
12月8日～9日	清田区役所バザー	清田区役所
12月9日～11日	チカホバザー	札幌駅前通地下広場
12月11日	札聴協理事会　販売	視聴覚障がい者情報センター
12月12日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
12月13日	訪問販売	就労継続支援A型事業所ユニゾン
12月13日	訪問販売	太平南小学校
12月14日	訪問販売	かでる2.7
12月15日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
12月16日	訪問販売	株式会社アイワード
2023年 1月12日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
1月13日	訪問販売	札幌市産業振興センター
1月17日	訪問販売	就労継続支援A型事業所ユニゾン
1月17日～19日	南地区会バザー	中央区民センター
1月19日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
1月20日	訪問販売	株式会社アイワード
1月26日	訪問販売	かでる2.7
1月30日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
2月3日	訪問販売	札幌市産業振興センター
2月7日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
2月10日	訪問販売	株式会社アイワード
2月11日	ほほえみ後援会講演会	視聴覚障がい者情報センター
2月16日	訪問販売	かでる2.7

2月16日	訪問販売	太平南小学校
2月20日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
2月21日	訪問販売	和田精密技研株式会社
2月22日、24日	清田バザー	清田区役所
2月25日～26日	札聴協理事会　販売	視聴覚障がい者情報センター
2月28日	訪問販売	株式会社アイワード
3月3日	訪問販売	札幌市産業振興センター
3月5日	耳の日販売	かでる2.7
3月9日	訪問販売	就労継続支援B型事業所なごみ
3月10日	訪問販売	株式会社アイワード
3月16日	訪問販売	かでる2.7
3月16日	訪問販売	太平南小学校
3月17日	訪問販売	株式会社アイワード
3月20日	訪問販売	デイサービスほほえみ白石
3月24日	訪問販売	株式会社アイワード
3月28日	訪問販売	株式会社アイワード
3月28日	訪問販売	和田精密技研株式会社

（４）委託販売場所

	店　名	場　所
1	元気ショップ	大通東西線コンコース内
2	元気ショップ「いこーる」	札幌駅西コンコース内
3	Ohana E.S 合同会社	市民交流プラザ等
4	円山動物園	西門オフィシャルｽﾃｰｼｮﾝ内

（５）実習 受け入れ状況

2022年9月15日（木）札幌聾学校より　児童３名、教員２名、看護師１名

場所：ほほえみカフェ

（６）見学・取材　受入れ状況

月日	学校名	参加者	内容	場所
11月21日	札幌学院大学	生徒3名講師1名	盲ろう者の生活について知る	菓子工房ほほえみ
11月24日	札幌学院大学	生徒3名講師1名		ほほえみ作業所

（７）防災訓練

月日	場所	参加人数			
		利用者数	職員数	その他	合計
2022年11月25日	ほほえみ作業所	0	5	0	5
2023年2月28日	ほほえみ作業所	0	4	0	4

（８）送迎サービス

（ア）事業所間の送迎車での利用：ほほえみ作業所⇔地下鉄菊水駅・GH

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延回数	199	201	291	226	282	238	275	222	163	212	197	239

（イ）各事業所⇔自宅

交通手段	2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
車	事業所	3	7	12	11	5	8	9	9	25	14	16	13
	家族	45	24	25	29	37	37	36	35	38	24	25	42
交共交通機関	職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	9	5	4	0	3	4	4	5	7	4	7	7
徒歩	職員	21	8	0	0	0	0	0	0	62	62	58	38
／	回数	73	42	39	33	43	43	40	45	131	104	106	100

（９）ほほえみ作業所

さまざまな体験を通して、一人ひとりの持っている力を活かした就労支援を行なった。

作業時間：月～金　9：30～15：30
場所：白石区菊水元町5条1丁目9－8
内容：下請作業・施設外就労・自主製品制作及び販売、送迎サービス、防災訓練等実施

①取り組み：下請け作業、委託作業、施設外就労など

		作業内容	昨年比
下請け作業	A社	シール貼作業、袋詰め作業など	約0.2万円収入減
	B社	月～金　毎日、封入作業など	約3万円収入減
	C社	手提げ袋の裁断、ヒモ付け作業など	約2万円収入増
	D社	食品の袋詰め作業	約22万円収入減
	E社	紙製品の加工作業。	約47万円収入増
	F社	地域情報誌（ふりっぱー）の配達。	約1.5万円収入増
	G社	液体ソースの計量、小分け作業	新規契約　約3万円収入増
	H社	豆の選別	新規契約　約0.5万円収入増

新聞帯封作業	札聴協の新聞と北聴新聞・ほほえみ便りの発行作業	昨年から継続

施設外就労	企業の倉庫内での箱折り、梱包作業など	11回増

②授産製品の見直しや工夫による効果

手芸品	テレワークの仲間と通所の仲間で作業の分担を行い、一つの商品を作成する取組を行った。役割分担をすることで新たな商品を作成することができた。

紙製品	下請け作業のあいた時間に定番商品を作成することで、効率よく在庫数を維持することができた。

③作業所の売上推移　（単位：円）

	バザー	ショップ	下請作業	収入計
4月	11,119	11,942	95,998	119,059
5月	10,770	7,565	130,182	148,517
6月	1,885	5,498	208,010	215,393
7月	4,559	9,275	180,441	194,275
8月	870	11,705	116,301	128,876
9月	4,155	12,611	188,339	205,105
10月	28,788	14,054	106,914	149,756
11月	5,240	8,385	211,661	225,286
12月	8,658	8,103	146,883	163,644
1月	225	12,075	263,219	275,519
2月	7,394	5,415	165,692	178,501
3月	626	6,045	173,969	180,640
合計	84,289	112,673	1,987,609	2,184,571

【成果と目標】

昨年度、契約した企業との関係づくりを強化し信頼関係を築くことができた。その結果、単価交渉や受注の増加につながった。作業所だけでは受けられないような数量でもB型全体で連携して取り組み、納品することができている。新たに契約した食品会社は、倉庫作業で長年お世話になっている会社従業員の転職先であり、倉庫作業での関係が大きく影響していると考えられる。
今年度から始めた「小学校の水飲み場清掃」は次年度も継続が決まり札幌市と委託契約を行った。その他、まちづくりセンターの窓ふきなど短期間の依頼もカフェと共同で行うことができた。作業の選択肢が増えているため、効率の悪い仕事を整理し、優先順位を考えることが課題となる。

(10) 菓子工房ほほえみ

社会参加を目的とし売上を伸ばすだけではなく、作業内容を通して生活習慣やマナーなどについても支援した。

作業時間：月～金　9：30～15：00
場所：白石区菊水3条3丁目2-8
内容：菓子・パン製造、販売、送迎サービス、防災訓練等

①取り組み：現状の把握をしながら、利用者の技術の向上、社会参加を目指す。

製菓・製パン作業	利用者の製パン技術が向上したことにより、より多くのパンを作ることができるようになった。2種類の新作パンを販売することができ、利用者のモチベーション向上にもつなげることができた。
ミニショップ	常連のお客様はもちろん新規のお客様も多数ご来店され、パンが完売する日も増えた。
社会への参加	コロナの感染拡大の影響で外出行事はほぼ実施できなかったが、カフェお食事会は10月に2回開催することができた。

②来客数・売上

月	ショップ売上(単位：円)	その他売上(単位：円)	菓子工房売上(単位：円)	来客数(単位：名)	営業日数(単位：日)
4月	70,537	88,232	158,769	99	12
5月	61,661	72,779	134,440	89	10
6月	69,945	105,495	175,440	128	15
7月	62,020	115,277	177,297	74	12
8月	79,850	84,255	164,105	112	14
9月	56,120	139,161	195,281	101	13
10月	58,200	151,365	209,565	96	13
11月	71,730	85,738	157,468	83	10
12月	51,330	99,736	151,066	73	9
1月	68,830	89,680	158,510	84	9
2月	57,890	139,581	197,471	100	11
3月	50,491	96,207	146,698	86	12
合計	758,604	1,267,506	2,026,110	1,125	140

【新しい取り組みと成果】

はちみつの瓶詰め作業	新しくはちみつの瓶詰め作業の依頼を受けた。利用者、職員ともに初めての作業だが慎重にミスの無いように進めている。
袋詰めの下請け作業	お茶の土倉さんからの下請け作業は、順調に進めることができている。定期的に依頼もあり、今後も丁寧に作業を続けて行きたい。

【目標】

菓子工房ほほえみでは、製菓、製パン作業を通してやりがいのある仕事を提供し、社会参加につながる経験ができるように取り組みを続ける。

（11）ほほえみカフェ

菓子製造・カフェ業務の他、今年度から始めた下請けの仕事を通して、新たな可能性を広げられるよう就労支援を行った。

作業時間：月～金　9：30～15：30
場所：豊平区豊平3条7丁目1-1
内容：菓子・ケーキ製造、販売、接客、調理補助、清掃等

①来客数・部門別売上

月	人数(名)	カフェ部門(円)	菓子部門(円)	お弁当(円)	委託作業他(円)	計（円）
4月	168	100,652	359,414	80,550	3,950	544,566
5月	145	94,063	238,964	63,450	4,113	400,590
6月	211	170,570	243,199	102,750	5,720	522,239
7月	133	136,495	264,538	100,200	28,017	529,250
8月	217	170,710	229,796	81,400	19,340	501,246
9月	243	156,810	310,006	108,400	7,565	582,781
10月	172	147,308	418,768	121,900	28,894	716,870

11月	180	151,080	235,154	11,841	121,300	519,375
12月	212	207,660	711,128	71,150	15,841	1,005,779
1月	104	90,514	190,710	81,850	18,423	381,497
2月	170	124,750	414,722	121,100	8,967	669,539
3月	189	100,936	327,713	120,050	10,543	559,242
計	2,144	1,651,548	3,944,112	1,064,641	272,673	6,932,974

②ギャラリー貸出、イベント

内容	期間	詳細・実績等
ギャラリー 無料貸出	4月	河野　仁志氏　写真展
	5月～6月	デフフォトクラブ　写真展
	7月	須田　奉代氏　和装のバッグ展示会
	8月	『音のない世界の四人侍』　写真展
	9月	地域活動センターほほえみ西　展示
	10月	渡部　康仁氏　写真展
	11月	工藤　博之氏　写真展
	12月～1月	ぶんれい一座の絵手紙展
	2月～3月	坂元　若葉氏　写真展
手話サロン	第2水曜日	中止
絵手紙教室	第1、第3 木曜日	4月・７月・９月・10月に開催

③取り組み

期間	内容
4月～3月	訪問販売：さっぽろ産業振興センター・障害者事業所なごみ 障害者事業所ユニゾン・和田精密株式会社 かでる2.7・デイサービスほほえみ白石 太平南小学校・株式会社アイワード
4月～3月	ハワイスコーン委託製造
10月	ハロウィーンケーキ販売
12月	クリスマスケーキ販売
2月	バレンタインケーキ販売

【成果及び目標】

2022度前半は、新型コロナウィルス感染拡大の影響もあったが、その中で新しい訪問販売先２カ所を確保し、収入増に繋げることが出来た。

他に、新たに下請け会社と契約し、下請け作業にも取り組んだ。久しぶりにバザーの機会が増えたことと、新たなイベントの紹介もあり、通所者と一緒に参加する機会を作ることが出来た。クリスマスなどのイベントのお菓子販売も好調だった為、収入の補填ができた。

2023年度も新商品の開発と、販売先の新規開拓に努め、売り上げ増を目指したい。

３．共同生活援助事業（指定障害福祉サービス事業）

聴覚障害者グループホームよつば（介護サービス包括型）
（入居定員よつば５名、さくら３名）

障害者総合支援法に基づく共同生活援助事業として、聴覚障害者が安心して生活できる場所の運営を行った。

① 利用者数(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
よつば	150	153	150	155	155	148	154	150	154	152	138	155
さくら	90	79	90	93	86	85	92	73	63	82	82	91

② 行事

㋐防災訓練　4回実施

月日	場所	参加人数			
		入居者	職員	その他	合計
2022年 8月7日	よつば内 さくら内	8	6	0	14
11月3日	白石区役所 区民ホール	1	1	0	2
2023年 1月11日	さくら内	0	3	0	3
1月13日	よつば内	0	3	0	3

㋑外出レクレーション

月	内容・場所	参加者数			
		入居者	職員	その他	合計
6月	メイク講座（さくら内）	3	3	0	6
7月	焼肉パーティー（駐車場）	5	3	0	8
9月	花火大会（駐車場）	3	2	0	5

*新型コロナウイルス感染予防のため、予定通りに外出レクレーションを実行できなかった。9月焼き肉店での「テーブルマナー講座」を予定していたが、コロナ自粛のため中止した。

*今年も定期健康診断受診（勤医協札幌病院）を行った。

㋒わたしの日

月	希望	場所	入居者	職員
5月	白い恋人パークで美味しい夕食	白い恋人パーク	1	1
7月	ラグビーの本を買いたい パフェが食べたい	札幌駅周辺	1	1
9月	飛行機を見に行きたい	丘珠飛行場	1	1
9月	観覧車に乗ってみたい	ノルベサ	1	1
9月	観覧車に乗ってみたい	ノルベサ	1	1

*入居者の誕生日頃に合わせ、自分の行きたいところや同行職員の希望をだし

てもらい、一緒に計画し願いを実現する日とした。冬季生まれの利用者は、春に行う予定。

③見学者

2022年度はなし

【取り組みと成果】

職員不足のため朝食のみ配食サービスを利用した期間があったが、アルバイトの定着と非常勤職員が入ったことで、手作り朝食を復活することができた。冬期間の運動不足解消のため室内での運動時間を取り入れた。歯磨きも電動歯ブラシに切り替え見守りを強化したことで、口内状況が改善されてきている。

【目標】

・入居者の体力維持のためウオーキングと室内運動の強化を図りたい。
・1名退居のため満室になるようPR活動に努める。

４．職員研修

（地域活動支援センター・就労継続支援Ｂ型事業所・共同生活援助事業所）

月日	研修内容	担当・講師等	参加者	
			人数	対象
オンデマンド 5月2～18日	公社）全国脊椎損傷者連合会 ピアサポーター養成研修 令和4年度　第一回北海道・東北ブロック研修事業 オンデマンド研修・Zoomと実会場による ﾊｲﾌﾞﾘｯﾄﾞ開催	演習講師 井谷重人氏 JILﾋﾟｱｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ委員会・委員長 淺川　都氏 自立センター・小平　代表 岡本雅樹氏 JIL認定ﾋﾟｱｶｳﾝｾﾗｰ	3名	作業所 カフェ
講義・実習 5月21日				
5月26,27日	2022年度 北海道サービス管理者及び児童発達支援管理責任者研修	主催 NPO法人きなはれ	1名	作業所
6月16,17日			1名	カフェ
ｵﾝﾗｲﾝ講座 （eﾗｰﾆﾝｸﾞ） 7月4～22日	令和4年度 相談支援従事者研修 （サビ管・児発管向け）	特定非営利活動法人 北海道地域ケアマネジメントネットワーク	1名	作業所
10月2日	北海道サービス管理責任者実践研修	NPO法人きなはれ	1名	GH
10月22日	全体職員研修 「ストレスコントロールと健康増進」	NPO法人てんTOてんﾚｽﾄﾚｰｼｮﾝｻﾎﾟｰﾄ奥村氏	21名	各所職員
10月27日	甲種　防火管理新規講習	(一社)北海道消防設備協会 森　裕氏 上田孝志氏 会田泰義	1名	作業所
11月3日	「ろう者は災害の時、こんな事に困ります」	白石手輪の会	2名	作業所
11月18日	「個別支援計画」作成及び運用に関する研修会	全国障害者総合福祉ｾﾝﾀｰ	1名	GH

11月22・25・30日	管理者研修　中級	札幌市保健福祉局 障がい保健福祉部	1名	GH
12月5日	新型コロナウイルス感染症の現状と施設内で感染者が発生した場合の医療との連携について	札幌市医師会 札幌市在宅医療協議会	1名	GH
12月11日	全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会	社会福祉法人 埼玉聴覚障害者福祉協会	1名	地活
1月24日	さっされん2022公開セミナー 第一部「オンラインでの伝え方ここが違います」講師　矢野香氏 第二部「虐待防止研修会」 岩見沢ななほし法律事務所弁護士　田村秀樹氏	さっされん事務局	3名	作業所菓子工房
2月6日	令和４年度全体職員会議 「発達障害の基本」 講師　札幌市自閉症・発達障害者支援センターおがる　大館美奈子氏	講師　札幌市自閉症・発達障害者支援センターおがる大館美奈子氏	22名	各所職員
3月6日	「身体ケアについて」	NPO法人てんTOてんﾚｽﾄﾚｰｼｮﾝｻﾎﾟｰﾄ奥村氏	19名	各所職員
3月10日	令和４年度第２回生活就労センター施設長・職員研修会	北海道社会福祉協議会	１名	作業所
3月23日	北海道地域定着支援センター/手稲区地域部会共催研修 触法障がい者の地域生活を考える	北海道定着支援ｾﾝﾀｰ 統括ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ石井　隆氏	１名	作業所

５．聴覚障害者支援センターほほえみ事業運営委員会

期間：2022年4月～2023年3月（年3回実施）
会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	備考
第1回	2022年5月14日　10：00～12：00	10名	会場開催
第2回	9月10日　10：00～12：00	12名	会場開催
第3回	2023年1月14日　10：00～12：00	12名	会場開催

構成：団体等個人に運営委員を委嘱
北海道高等聾学校：菊池涼教諭
北海道札幌聾学校：青木淳教頭
札幌手話サークル連絡協議会：久保田昭人会計部長
坂本恵美子広報部長
札幌手話通訳問題研究会：佐藤薫会計部次長、高川さとみ氏
聴覚障害者支援センターほほえみ後援会：樋口道雄事務局長
那須美枝子会計部長
公益社団法人札幌聴覚障害者協会：高嶋正博副理事長、宮内博子理事
担当職員：
聴覚障害者支援センターほほえみ　：　センター長　秋井利江

（ほほえみ作業所）：所長　柏崎弘子
（ほほえみカフェ）：店長　荒井友理
（ほほえみ西）　　：所長　岩崎剛

内容：3事業（就労継続支援B型・地域活動支援センター・共同生活援助）の現状報告及び意見交換を行った。

６．「虐待防止委員会」及び「身体拘束適正化委員会」開催

（さっぽろ聴覚障害者介護支援センターと合同開催）

期間：2022年4月～2023年3月（年1回以上実施）
会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	内容
第1回	2022年11月16日 18：30～20：00	8名	各規程の確認、虐待防止チェックリストの確認、虐待防止の各所の取り組みについて報告と意見交換を行った。

構成：団体等個人に運営委員を委嘱
第三者委員：特定非営利活動法人レストレーションサポート
代表理事 奥村宣久氏
公益社団法人札幌聴覚障害者協会：高嶋正博副理事長、宮内博子理事
担当職員：
聴覚障害者支援センターほほえみ：　センター長　秋井利江
（ほほえみ作業所）：所長　柏崎弘子
（ほほえみカフェ）：店長　荒井友理
さっぽろ聴覚障害者介護支援センター：センター長　樋口あやこ
（ほほえみ白石）：所長　中村千恵
（ほほえみ手稲）：所長　有山将大 ※当日は欠席

７．聴覚障害者支援センターほほえみ後援会主催の街頭募金活動（参加協力）

コロナ禍のため実施なし。

Ⅱ　字幕・手話付き映像作品の制作

１．聴覚障がい者向け映像資料制作事業（札幌市委託事業）

札幌市の聴覚障害者のニーズを把握し、聴覚障害者への情報提供に資する貸出用ビデオ、札幌市政に関するインターネット配信用動画を制作した。

期間：2022年4月～2023年3月（年間）
場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター聴覚障害者情報提供施設事務室
内容：年間35本制作（仕様より2本多く制作した）

（１）講座撮影・教材 6本

分類	タイトル	時間(分)
講座 （３本）	旧優生保護法 ～兵庫県の取り組みと裁判の状況～	79

	日本初ろうのバス運転士 ～夢をかなえて～	73
	コロナ禍での情報保障 ～私が通った製菓専門学校でのケース～	32
教材 （３本）	札幌の手話～真駒内編～	14
	手話を読み取ろう2022 ～ひとり語り編～	27
	手話を読み取ろう2022 ～会話編～	26

（２）ニュース 12本

タイトル	時間(分)
札幌聴覚障がい者ニュース(2022年4月号)	20
① 2022年度新規札幌市登録手話通訳者 ② 札聴協青年部・女性部・高齢部懇談会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2022年5月号)	21
① ほほえみ西でゴミの分別学習会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2022年6月号)	21
① 高齢部・パークゴルフクラブ交流会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2022年7月号)	15
① 札幌ろうあ老人クラブでワクチン訪問接種	
札幌聴覚障がい者ニュース(2022年8月号)	23
① 札幌市議会たけのうち有美議員ミニ講演	
札幌聴覚障がい者ニュース(2022年9月号)	25
① 第8回札幌デフ・フォトクラブ写真展 ② 9月23日は「手話言語の国際デー」	
札幌聴覚障がい者ニュース(2022年10月号)	26
① 昭和時代に受けた子供いじめ体験談 ② 札幌ろうあ老人クラブで絵手紙教室	
札幌聴覚障がい者ニュース(2022年11月号)	15
① ほほえみ西お楽しみ会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2022年12月号)	57
① 110番アプリシステムの使用方法 ② ほほえみの郷クリスマス会	
札幌聴覚障がい者ニュース(2023年1月号)	23
① AI手話翻訳サービスの実証実験	
札幌聴覚障がい者ニュース(2023年2月号)	50
① ほほえみ西で節分イベント ② コロナ禍のほほえみ	
札幌聴覚障がい者ニュース(2023年3月号)	42
① 第45回耳の日市民のつどい	

（３）自主企画制作 5本

タイトル	時間(分)
2022年度札幌市手話動画集（１）	66
アイスキャンドルを作ろう	17
聾学校の歴史トーク	48
きこえない私の生涯	25
2022年度札幌市手話動画集（２）	53

（４）インターネット配信用映像（札幌市政に関する内容）12本

タイトル	時間
2030年冬季オリンピック・パラリンピック招致について(大会概要案)	25分47秒
新型コロナ・陽性者サポートセンターはFAXでの相談も可能です	7分26秒
2022年度札幌市手話講習会合同講義	8分14秒
札幌市制100周年 これまでの歩みと新しい100年のはじまり	10分34秒
毎年9月23日は「手話言語の国際デー」札幌市時計台ブルーライトアップ	4分18秒
2022年度札幌市手話講習会修了式 受講生代表手話スピーチ(1)	4分35秒
2022年度札幌市手話講習会修了式 受講生代表手話スピーチ(2)	5分
手話を学ぶのでなく 手話から学ぶ	7分39秒
さわって読める 本のタイトル	9分57秒
「盲ろう」という障がいをご存じですか？パート2	14分7秒
大きな文字で読めたらいいな	7分49秒
手話でつながるなかまの輪	13分2秒

２．「目で聴くテレビ」用ビデオ制作

認定ＮＰＯ法人障害者放送通信機構「目で聴くテレビ」の「地方の手話」1本、「つつうらうら」を4本提供。

３．職員研修

「令和4年度聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会」

オンライン形式（zoom）で参加（参加者：亀田職員）

開催日：2022年11月10日（木）～11日（金）

ホスト会場：川崎市国際交流センター

研修内容:

1 日目

所要時間	内容	講師など
1 時間 50 分	障害者の情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法について	全日本ろうあ連盟元理事　小中栄一氏
30 分	活動報告	川崎市聴覚障害者情報文化センター
2 時間	グループワーク 「各ブロックの課題と情報共有」	＜北海道・東北ブロック＞北海道・青森県・岩手県・宮城県・山形県・札幌市

2 日目

所要時間	内容	講師など
1 時間 50 分	あらためて字幕製作について考える	聴力障害者情報文化センター　広域支援部門部長　早川代志子氏
1 時間 30 分	グループワーク(選択) 「著作権・肖像権」	※講師なし、参加者による情報交換

＜特記事項＞
来年度からは、全国レベルの研修会では技術研修は行わず、各ブロックごとに別途研修会を企画・開催する予定。札幌市は＜北海道・東北ブロック＞に属するため、研修会が対面方式の場合、東北地方への出張が必要になる可能性あり。

４．令和4年度市長記者会見に係るインターネット配信用映像データ（手話動画付き）動画制作業務

・令和4年度市長記者会見　開催回数（合計20回）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定例	2	1	2	2	1	2	2	2	1	1	2	1	19
臨時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
合計	2	1	2	2	1	2	2	2	1	2	2	1	20

５．その他の札幌市委託事業（単発事業）
令和5年新成人向け市長メッセージ動画への手話動画挿入業務
（札幌市市民自治推進課）

Ⅲ　字幕・手話付き映像作品及び情報機器の貸出等

１．聴覚障がい者向け映像資料等貸出事業（札幌市委託事業）

（１）業務内容
①聴覚障がい者の文化享受の増進を図るために、聴覚障がい者に対して、字幕または手話付き映像資料等の貸出を行なった。
②聴覚障害者の利便に資する情報機器を展示し、情報機器の啓蒙・啓発を行なうとともに、機器の利用に関する相談に応じた。
③パソコンを聴覚障がい者に対し利用開放するとともに、操作方法等の指導を行なった。
④聴覚障害者情報提供施設内の受付・案内業務等、聴覚障害者情報提供施設にかかわる事務を行なった。

（２）期間：2022年4月～2023年3月
（３）場所：市視聴覚障がい者情報センター2階貸出室
（４）開室時間

曜　日	開室時間
月曜日・火曜日	10時～17時
水曜日	10時～20時45分
木曜日	10時～19時
金曜日	10時～20時30分

（５）貸出内容

①聴力障害者情報文化センター（東京）制作ビデオ等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出・視聴本数	10	5	6	25	36	22	9	10	7	7	6	4	147
利用人数	3	3	4	11	10	6	3	44	3	3	4	2	96
利用件数	5	3	5	15	19	12	6	6	4	6	4	2	87

②札幌市委託事業で札聴協が制作したビデオ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出・視聴本数	107	85	147	134	183	132	84	123	88	73	53	44	1253
利用人数	78	39	162	97	114	28	21	71	70	130	50	33	893
利用件数	53	35	73	74	79	55	35	59	42	37	29	22	593

③情報機器利用貸出(ビデオ、ＤＶＤ閲覧、ＩＴ閲覧、「目で聴くテレビ」閲覧、プロジェクター利用)　（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ビデオ閲覧	0	0	4	6	6	9	9	7	0	3	1	1	46
ＩＴ閲覧	0	0	1	0	0	0	0	2	0	2	0	0	5
目で聴く閲覧	4	4	7	4	4	4	4	8	4	4	6	4	57
手話学習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プロジェクター	11	15	29	20	25	26	43	19	10	15	20	20	253
ＯＨＣ	0	0	0	0	0	2	0	0	3	1	2	2	10
合計	15	19	41	30	35	41	56	36	17	25	29	27	371

（６）貸出対象者：北海道内に住所を有する次の者
①身体障害者手帳の交付受けている聴覚障がい者（児）及び保護者
②聴覚障がい者関係団体、学校及び施設
③手話通訳に係るボランティアなど聴覚障がい者の福祉向上に関心がある者

２．全国各地の聴覚障害者団体の機関紙閲覧

全国各地の聴覚障害者団体から送られてくる機関紙をビデオ・情報機器利用貸出室で自由に閲覧できるように随時、整理した。

３．札幌市視聴覚障がい者情報センター　見学対応

（見学場所：ビデオ・情報機器利用貸出室、スタジオ、聴能言語訓練室、手話通訳者派遣室）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体(件)	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
個人(件)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
人数	0	0	3	0	0	0	0	41	0	0	0	0	44

Ⅳ　聴覚障がい者社会生活教室の開催

札幌市聴覚障がい者社会生活教室開催等事業（札幌市委託事業）

聴覚障害者の生活相談及び生活支援に対応し、必要な知識の習得や情報交換を目的とし行なった。

１．聴覚障がい者社会生活教室の開催

障害者総合支援法の「生活訓練等事業」に基づき、①職場生活②コミュニケーションの方法③家庭の生活設計④育児⑤芸術、文化等一般教養⑥人間関係等に関する内容の教室を開催した。

期間：2022年4月～2023年3月
（年30回開催、うち協会各区支部で2回ずつ開催）
会場：市視聴覚障がい者情報センター・各区民センター他
参加対象：札幌市内存住で身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者

（１）社会生活教室開催状況

月日	テーマ	講師　※敬称略	参加者
4月2日	石狩市手話に関する基本条例の制定とその後の変化	杉本五郎（NPO 法人石狩聴力障害者協会会長）	12名
4月14日	石狩市の手話言語条例～制定とその後の変化～	杉本五郎（NPO 法人石狩聴力障害者協会会長）	25名
4月24日	健康ヨガ	工藤典子（オフィス工藤ヨガインストラクター）	4名
5月19日	歴史講座 聖地・円山	高橋悟(札幌市生涯学習センター市民講師)	29名
6月2日	転倒骨折予防教室	村上麻里（看護師）	24名
6月23日	高齢者施設の選び方	米村裕（一般社団法人あんしん住まいサッポロ事務局長）	10名
6月26日	カーリンコン教室	葛西尚之（北海道カーリンコン協会会長）	10名
7月2日	包丁研ぎ教室	宮本隆一(株式会社宮文・代表取締役社長)	11名
7月3日	災害発生時の地域での支え合い～要配慮者の避難支援～	長島康人(札幌市保健福祉局総務課)	6名
7月10日	ヒグマの生態と対策方法を学ぼう	濱田敏裕（札幌市環境局環境共生担当課）	9名
7月14日	手話紙芝居	太田利実（元・図書館司書）	24名
8月7日	熱中症予防対策について	岡山久美子（東徳洲会病院入退院支援センター退院支援部 看護師）	5名
8月7日	ここに注意！わが家の安全	坪田修一（札幌市都市局市街地整備部宅地課監理担当課長）	6名
9月1日	手話よもやま話	佐藤英治（北海道石狩翔陽高校非常勤講師）	18名
9月4日	石狩市手話に関する基本条例の制定とその後の変化	杉本五郎（NPO 法人石狩聴力法人石狩聴力障害者協会会長）	16名
9月4日	カラスについて～カラスの習性と生態を知ろう～	中村眞樹子（NPO 法人札幌カラス研究会代表理事）	10名
11月6日	ボッチャ	石川英仁（ドリームボッチャ札幌）	10名
11月6日	魅力ある函館の手話	村山ひな子（江別聴力障害者協会事務局次長）	32名
11月13日	片付けについて	竹腰美春(生前整理アドバイザー準1級認定指導員)	9名
12月4日	110番アプリシステムの登録をしよう	堀部将大(北海道警察本部地域部通信指令課調査官)	11名
12月4日	特殊詐欺被害防止について学ぼう	松井健人（札幌方面南警察署生活安全課生活安全係長）	10名
1月15日	カローリング教室	石狩市スポーツ推進員	19名
1月21日	手話言語の国際デー＆手話言語法制定について	佐藤英治（北海道ろうあ連盟参与）	15名
1月22日	ハンドケア教室	中村智恵美（レスパイトサポーターズユニット香代表）	6名
2月2日	ろう者に役立つスマホ教室	長谷和明（北海道ろうあ連盟理事）	14名

2月5日	カラーセラピー教室	山本花緒里（色彩心理カウンセラー）	14名
2月5日	フライングディスクを楽しくやってみよう	近藤尚也（北海道障害者フライングディスク連盟副会長）	15名
2月23日	LGBT について	斉藤巧弥・長谷川諒（札幌レインボープライド実行委員）	13名
3月26日	災害に負けない水道～水道局の災害対策～	札幌市水道局給水部給水課	12名
3月26日	災害時のサバイバル術	藤澤誠（NPO 防災教育研究センター赤鼻塾）	17名

（２）月別開催回数および参加者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開催回数	3	1	3	4	2	3	0	3	2	3	4	2	30
参加者数	41	29	44	50	11	44	0	51	21	40	56	29	416

（３）支部別参加人数

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲
テーマ「災害関係」	5		9		17		12		6	
テーマ「生活①」	6	12	32	4	15	10	11	10	10	16
テーマ「生活②」		15		9		6		10		19
合計（延べ人数）	11	27	41	13	32	16	23	20	16	35

Ⅴ　聴能言語訓練の実施

札幌市聴能言語訓練事業の実施（市委託事業）

コミュニケーション手段に著しい障がいを有する聴覚障がい者に対し、その聴力の損失の程度により、残存聴力の活用、聴覚以外による言葉の習得の訓練を行ない、聴覚障がい者の自立を図るとともに社会の適応を高める訓練を実施した。

期間：年間82回
場所：市視聴覚障がい者情報センター聴能言語訓練室
訓練内容：聴力測定、補聴器のフィッティング、補聴器装用訓練、発声・発語訓練、日常生活訓練
対象：市内に居住する身体障害者手帳の交付を受けている聴覚障がい者・失語症者

①障がい別利用者数（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
聴覚障がい	1	0	1	1	1	1	1	2	6	6	4	3	27
中途失聴	1	0	2	2	0	1	1	1	1	1	1	1	12
重複障がい	3	0	9	8	12	9	11	7	9	6	5	7	86
言語障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
失語障がい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	15	0	12	11	13	11	13	10	16	13	10	11	125

②内容別利用者数（延人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内容概説	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
聴力検査	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
構音	1	0	0	1	2	4	4	4	8	6	5	2	37
総合練習	3	0	5	7	9	6	7	5	5	6	5	7	65
読話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	0	7	3	1	1	2	1	2	1	0	2	21
合計	5	0	12	11	13	11	13	10	16	13	10	11	125

備考

・新型コロナウイルスの感染予防のため、一部郵便物による指導を行った。

Ⅵ　電話リレーサービス事業

電話リレーサービス事業の実施

（一般財団法人日本財団電話リレーサービス委託事業）

聴覚障害者が一人で電話を掛けられるよう電話リレーサービスの提供体制を構築することで、聴覚障害者の地域生活における自立の推進に資することを目的に実施した。

事業内容：聴覚障害者等による電話の円滑化に関する法律に基づいて聴覚障害者・難聴者・発話困難者の手話または文字ときこえる人の音声を双方向に通訳するサービスを実施。（電話リレーサービス通訳オペレーション業務）

サービス提供日時：月曜～金曜　午前9時～午後7時

1日10時間（土・日・祝日・年末年始は休み）

期間：2022年4月1日～2023年3月31日

対象：きこえる人および電話リレーサービスの利用申請をした聴覚障害者

説明会・研修会	会　場	月　日
電話リレーサービス全体定例会（全国の電話リレーサービス実施事業所）	オンライン	5月27日（金）
電話リレーサービス「札幌」オペレーター研修会	情報センター	6月11日（土）
電話リレーサービス手話事業所定例会（全国の電話リレーサービス手話実施事業所）	オンライン	7月27日（水）
電話リレーサービス臨時全体定例会（全国の電話リレーサービス実施事業所）	オンライン	9月6日（火）
電話リレーサービス手話事業所定例会（全国の電話リレーサービス手話実施事業所）	オンライン	11月11日（金）
電話リレーサービス全体定例会（全国の電話リレーサービス実施事業所）	オンライン	12月2日（金）
電話リレーサービス「札幌」オペレーター研修会	情報センター	12月10日（土）
電話リレーサービス手話事業所定例会（全国の電話リレーサービス手話実施事業所）	オンライン	2023年 1月13日（金）

令和5年電話リレーサービス業務委託事業者説明会（全国の各事業所）	オンライン	2023年 1月20日（金）
電話リレーサービス事業説明会（札幌オペレーター）	情報センター	2023年 3月15日（土）

Ⅶ　聴覚障害者情報提供施設事業運営会議

構成：札幌市視聴覚障がい者情報センター・札幌手話サークル連絡協議会・札幌手話通訳問題研究会・（公社）札幌聴覚障害者協会
期間：2022年4月～2023年3月（年間2回開催）
会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月　日
1	2022年7月25日（月）対面形式
2	2023年1月16日（月）対面形式

時　間：15：00～17：00
出席者：札幌市・札幌市視聴覚障がい者情報センター 椎名政俊所長
札幌手話サークル連絡協議会　宮本英行会長
札幌手話通訳問題研究会　太田利実副運営委員長
（公社）札幌聴覚障害者協会：渋谷雄幸理事長、京野大樹事務局長、亀田雅春職員
内　容：聴覚障害者情報提供施設で行う事業（貸出・制作・社会生活教室・聴能言語訓練）、カルチャーナイト、情報センターの備品の更新などについて、報告・要望・意見交換などを行った。

Ⅷ　その他（会議等）

①特定非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会
2022(令和4)年度総会及び第 18 回(通算第 30 回)施設大会

日時：2022年6月17日（金）9：45～16：00
場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター（オンライン参加）
内容：（午前）2022年度 総会
（午後）第18回 施設大会
・講演１「デジタル社会の実現に向けた聴覚障害者情報提供施設の役割」
講師：富原博 氏（厚生労働省 障害保健福祉部 自立支援振興室）
・講演２「昭和末期から始まったネットワークが今や視覚障害者になくてはならないシステムへ」
講師：山田智直 氏（全国視覚障害者情報提供施設協会　理事）
・シンポジウム
出席者：札幌市視聴覚障がい者情報センター 椎名政俊センター長
京野大樹常務理事兼事務局長、渋谷悌子課長

②全国聴覚障害者情報提供施設協議会令和２年度第1ブロック（北海道・東北地区）活動研修会

日時：2022年11月4日（金）10：30～15：00
場所：宮城県聴覚障害者情報センター
内容：午前　令和6年度（特非）全国聴覚障害者情報提供施設総会大会の

開催地や全聴情協第１ブロック事務局長選任等の議題について話し合った

午後　講演「盲ろう者からみた障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法について」

講師　宮城教育大学准教授 三科 聡子氏

出席者：京野大樹常務理事兼事務局長（札幌市視聴覚障がい者情報センター所長代理・オンライン参加）

渋谷悌子課長（オンライン参加）

③カルチャーナイト2022

日時：2022年7月22日（金）～8月5日（金）

札幌市視聴覚障がい者情報センターの施設参加として5本の動画（手話・字幕つき）を制作して、カルチャーナイト公式ホームページで期間限定で公開された。5本の動画では、情報センターで活動する視覚障がい関連ボランティアや、札通研・札サ連の活動を紹介した。

〖公３〗啓発・広報事業

Ⅰ　ろうあ者への理解促進を図る「耳の日市民のつどい」の開催

3月3日の耳の日を記念して、聴覚障害者と手話を学ぶ市民、また一般の市民の方々と手を取り合って明日への生きる喜びを分かち合い、市民に対して、ろうあ者の存在と理解を広げる啓発を目的として行った。

耳の日事業「第45回耳の日市民のつどい」

期日：2023年3月5日（日）
会場：道立道民活動センター[かでる２．７］かでるホール
内容：記念講演「ろう弁護士として」
講師：松田　崚　氏（藤岡毅法律事務所 弁護士）
参加人数：来場型269名（一般 150名、会員 118名、高校生以下1名）
オンライン型42名（一般 25名、会員 17名、高校生以下 0名）
対象：聴覚障害者、手話サークル員、一般市民等

記念講演では、藤岡毅法律事務所 弁護士 松田崚様をお迎えして、ハイブリッド型（来場とオンライン）で開催を行った。

弁護士になったきっかけやこれまでの聴覚障害者の弁護による事例、これからの目標について話していただいた。学校の授業の情報保障がなく一般の人たちとの差を感じ、人権に興味を持つようになり、また、ろう弁護士の田門浩先生との出会いをきっかけに弁護士の道を目指すようになった。全国では聴覚障害のある弁護士は１２人いると言われ、これでも足りなくこれから聴覚障害者と寄り添える弁護士を増やして、自分も弁護士の腕を磨き、聴覚障害に関する差別や偏見をなくして行きたいと話があった。

参加者からは「常に前を向いて行動されている話にとても感動した」、「ご自身の経験から弁護士になられたという経緯、また、旧優生保護法訴訟の話や逸失利益訴訟の話など適時な話題もあり、とても勉強になる内容だった」という声があった。

Ⅱ　ろうあ者と聞こえる人の交流の場となる「札幌ろうあ者文化祭典」

私たちろうあ者のコミュニケーションと文化の窓であり、ひいては社会的権利とも深い関わりを持つ「手話」を、福祉関係者・教育関係者・医療及び職場の方々など多勢の市民に理解していただき、お互いに自由に心を通わせることをめざして企画を立てた。

１．文化祭典事業「第46回札幌ろうあ者文化祭典」

期日：2022年10月2日（日）
会場：札幌市身体障害者福祉センター
対象：聴覚障害者、手話サークル員、手話通訳関係者、手話を学ぶ市民等

新型コロナウイルス感染症の変異株「オミクロン株」の影響により、支部・専門部・団体ほかにアンケートを取り、実行委員会で議論した結果、収束が見通せないことから2022年7月20日（水）の実行委員会で中止を決定した。

２．全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画「咲む」市内上映会

各区	上映日	時　間	会　場	人数
中央区	2022年10月23日(日)	10:25	中央区民センター　区民ホール	87
北区	2022年10月10日(月)	①10:00　②13:30	北区民センター　区民ホール	151
東区	2022年11月13日(日)	①10:00　②14:00	栄地区センター　体育館	111
白石区	2022年11月3日(木)	①10:00　②17:30	白石区民センター　区民ホール	145
厚別区	2023年2月26日(日)	①10:00　②13:30	札幌学院大学　新さっぽろキャンパス	210
豊平区	2022年9月4日(日)	①10:00　②13:30	月寒公民館　体育室	86
清田区	2022年11月13日(日)	①10:30　②14:00	清田区民センター　区民ホール	103
南区	2022年10月15日(土)	①10:30　②14:00	南区民センター　区民ホール	114
西区	2022年10月30日(日)	①10:00　②13:30	市身体障害者福祉センター　体育館	170
手稲区	2022年10月10日(月)	①10:00　②14:00	手稲区民センター　区民ホール	103

対象：聴覚障害者、手話サークル員、一般市民等

映画上映にあたり各区支部で実行委員会を立ち上げて市民の皆様に対して聴覚障害者の理解普及のために、映画のポスターを各施設等に貼り、チラシを配布する等、宣伝活動を行った。おかげさまで、たくさんの市民の方に見ていただく事ができた。

鑑賞者より「ろう者の主人公の前向きな生き方に感動した」、「ろう者の音のない世界を感じるシーンが印象的だった」、「とても素敵で大変刺激を受けた映画でした」という声が多数あった。

市民の皆様にも手話や耳がきこえないということを広く知っていただける上映会を開催することができた。

Ⅲ　聴覚障害者に関する研修会等の開催

聴覚障害者の福祉増進のために必要な調査と研究を進め、聴覚障害者への理解を深める啓発活動を進めるために研修会へ参加した。

１．聴覚障害者の福祉増進に寄与する研修会、フォーラム等の開催参加

（１）公益社団法人北海道ろうあ連盟道央ブロック研修会

期日：2022年7月3日（日）
場所：石狩市花川北コミュニティセンター
内容：全日ろう連評議員会・全国ろうあ者大会の報告、意見交換など
派遣者：渋谷雄幸理事長、高嶋正博副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、福島太郎理事、金原浩之理事、野口和伸理事、宮内博子理事、越智誠理事、新田由香理事、佐藤正昭理事、森恵子理事

（２）2022年度公益社団法人北海道ろうあ連盟リーダー育成研修会への参加

期日：2022年11月5日（土）・6日（日）
場所：６か所会場（オンライン）
　　札幌会場：道立道民活動センター（かでる2・7）
内容：１日目　組織部担当　意見交換会
　　①「情勢と課題」（組織部）
　　２日目　②「情勢と課題」（情報・コミュニケーション部）
　　③「ろう運動の動きと取り組み」（福祉・労働対策部）
派遣者：渋谷雄幸理事長、中和彦副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、金原浩之理事、宮内博子理事、越智誠理事、福島太郎理事、森恵子理事、野口和伸理事、新田由香理事

（３）2022年度 北海道ろうあ連盟スポーツリーダー育成 研修会

主催：公益社団法人北海道ろうあ連盟スポーツ委員会主催
期日：2023年1月15日（日）
場所：道立道民活動センター（かでる2・7）730研修室
内容：講演「第24回夏季デフリンピック競技大会ブラジルに参加して」
講師：梅村　正樹　氏（卓球日本代表監督）
派遣者：なし

（４）第25回ろうあ者労働問題フォーラムへの参加（主催：北ろう連）

期日：2022年10月30日（日）
場所：道立道民活動センター（かでる2・7）1040会議室
内容：「障害者差別解消法と聴覚障害者の労働問題を考える」
講師：弁護士　西村 武彦 氏（札幌弁護士会）
派遣者：中和彦副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、金原浩之理事、越智誠理事、新田由香理事、佐藤正昭理事

（５）第23回ろう教育フォーラムin北海道への参加

期日：2022年8月11日（木・祝）
場所：道立道民活動センター（かでる2・7）　1040研修室
内容：講演「きこえない私がすき自分らしく生きる
　　～松江ろう学校で乳幼児教育相談と校長として取り組んだこと～」
講師：福島　朗博　氏
　　（社会福祉法人十神やすぎ保育園 園長・前松江ろう学校 校長）
派遣者：渋谷雄幸理事長、福島太郎理事、越智誠理事、佐藤正昭理事

２．第15回札幌合同研修会（札聴協・札通研）

（１）第15回札幌合同研修会の開催（ハイブリッド形式）

札聴協・札通研がともに研修会を開催し、共通する課題に取り組み、今後の各団体の組織的活動に活かすことを目的として開催する。
期日：2022年11月27日（日）
会場：札幌市社会福祉総合センター４Ｆ　大研修室
参加者：147名
内容：ハイブリッド講演
「私たちの力でこう変わる！
～情報コミュニケーション法そして手話言語法へ～」
講師：石野 富志三郎 氏（一般財団法人全日本ろうあ連盟 理事長）

【組織部】
2022年度もハイブリッド形式（対面・オンライン）の開催を試みた。石野講師より自治体の手話言語条例をさらに活かす施策（ロードマップ）を自治体へ交渉、取り組む事例を紹介いただき、着実に取り組められるヒントを得られた。来年度以降もハイブリッド形式での開催を札通研と検討していきたい。

Ⅳ　「ＨＳＫ札聴障（札幌聴覚障害者協会新聞）」の発行

「ＨＳＫ札聴障」の発行事業

聴覚障害者のため幅広く福祉を提供するとともに聴覚障害者に対する理解と啓発を促すため、機関紙「ＨＳＫ札聴障」を発行した。

期間：2022年4月～2023年3月（毎月1回発行・年間12回）
発行部数：650部
対象：札幌市内の聴覚障害会員、賛助会員、購読会員、行政、関係機関等
2022年度発行内容：以下、1面見出し

4月号	２年ぶりに開催!「第44回耳の日市民のつどい」 ろう初のバス運転士になるまでの思いを語る
5月号	お互いに助け合って協会を盛り上げよう！ 青年部・女性部・高齢部で懇談
6月号	コロナ禍を乗り越えて３年ぶりに代議員の皆さんと対面！ 第12回定時社員総会開催
7月号	全国の仲間たちと３年ぶりに再会！ 第70回全国ろうあ者大会inひろしま
8月号	写真で振り返る７月の出来事
9月号	―３年ぶりに対面で開催― 第63回全道ろうあ者大会in網走
10月号	北海道開催は31年ぶり!!コロナ禍を乗り越えて３年ぶりに開催!!　第56回全国ろうあ者体育大会開催!!
11月号	全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画 「咲む」各区会場で上映会開催!!
12月号	札聴協・札通研主催第15回札幌合同研修会 「手話言語法」ができるまで運動は続く

1月号	新年あいさつ　ウサギのようにピョンピョンと飛躍の年にしていこう
2月号	世の中がますます便利になっていく中で･･･ 生活の中では不便や小さな差別は残っている!!
3月号	これからAIの時代が来るかも!? AI手話実証試験に当協会が協力！

【広報部】
・新年号を除き、毎号、札聴協事業に関する情報を掲載した。随時、札幌聴覚障害者協会各区支部、専門部等の社会生活教室の呼びかけや報告を掲載した。
・「咲む」上映会のPRや生活に関する情報を行ってきた。
・エッセイコーナーはこれからも連続して掲載していきたい。
・できるだけHPや動画に関するものは二次元コードを貼り読者がアクセスしやすいように工夫しました。

Ⅴ　インターネットでの各種情報の提供

情報を随時更新し、聴覚障害者への理解を深め、札聴協の事業を広める啓発活動を独自に制作した内容でインターネットにより進めた。

１．ホームページ「公益社団法人札幌聴覚障害者協会」
引き続き「ワードプレス」を活用してホームページを更新してきました。
バナーを掲載し、募集等のアピールをすることによって、申込の増加につながったものもあります。
また、リンクを活用したり、動画を撮影して掲載して見てもらうようにわかりやすいホームページ発信の工夫を行なった。

２．札聴協情報メール
メール配信希望の会員に対し、情報提供のメールを随時発信した。
市長会見にこだわらずに行事に関するご案内や、詐欺等にかかわる注意のメールを発信していった。

2022年度発信数：No.1086～1172　86件
※登録者数：正会員　104名・賛助会員　51名

【収益等事業】

〖収１〗出版事業

１．出版事業
手話を学ぶために必要な書籍や聴覚障害に関する書籍を販売した。

※下記に特に売り上げの多かった書籍を掲載。（2022年度売上状況）

書籍名	発行者	販売数
Ⅰ　小売販売		875冊
1）全日本ろうあ連盟発行書籍		643冊
① 手話を学ぼう　手話で話そう（入門・基礎・手話通訳）		301冊
② 新型コロナ・平和・防災ハンドブック３種		227冊
③ 新しい手話（2022/2023）		67冊
④　わたしたちの手話辞典Ⅰ・Ⅱ		48冊
2）北海道ろうあ連盟発行書籍		210冊
① 2022年手話カレンダー　大		90枚
② 2022年手話カレンダー　小		120枚
3）その他団体等発行書籍		22冊
① 手話・言語・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ№10	全国手話研修センター	22冊
Ⅱ　札幌聴覚障害者協会制作販売		829冊
さっぽろの手話（三訂）		766冊
さっぽろの手話（医療編）		39冊
さっぽろの手話（販売・接客編）		24冊

今年は各講習会、研修会など対面で開催になり、テキスト、各種書籍の販売は好調。さっぽろの手話セット販売【医療・販売】（1,100円）が人気がある。

〖収２〗飲料自販手数料事業

１．飲料自動販売手数料事業

公共施設等に飲料自動販売機を設置し、施設利用者の利便性を図るとともに、その手数料を得る事業を行なった。管理及び補充作業は清涼飲料水販売業者に委託した。

自動販売機設置個所は31ヶ所。（2022年度）

	設置先	区	飲料会社		設置先	区	飲料会社
1	市身体障害者福祉センター	西	ｷﾘﾝ・大沼・ＰＳ・ｺｶｺｰﾗ	17	栄地区センター	東	キリン
2	北区体育館	北	ＰＳ	18	厚別南地区センター	厚別	大沼
3	東区体育館	東	大沼	19	手稲曙温水プール	手稲	キリン
4	豊平区体育館	豊平	大沼	20	もいわ地区センター	南	大沼
5	南区体育館	南	大沼	21	白石東地区センター	白石	大沼
6	西区体育館	西	キリン	22	星置地区センター	手稲	大沼
7	清田区民センター	清田	キリン	23	白石区複合庁舎	白石	キリン
8	手稲コミュニティセンター	手稲	キリン	24	清田区体育館・プール	清田	大沼
9	市社会福祉総合センター	中央	キリン（3カ所）	25	清田区役所	清田	キリン
10	手稲区役所	手稲	キリン	26	札幌市下水道河川局	豊平	大沼

11	厚別区役所	厚別	大沼	27	中島体育センター	豊平	キリン
12	平岸プール	豊平	キリン（2カ所）	28	すみかわ地区センター	南	ＰＳ
13	中央図書館	中央	キリン	29	手稲区民センター	手稲	キリン
14	西野地区センター	西	キリン	30	スポーツ交流施設（つどーむ）	東	サントリー
15	中央健康づくりセンター	中央	大沼	31	札幌市視聴覚障がい者情報センター	中央	キリン・大沼
16	はっさむ地区センター	西	キリン				

※キリン＝キリンビバレッジ、コーラ＝コカコーラ、
　ＰＳ＝ＰＳビバレッジ、サントリー＝サントリービバレッジソリューション

2022年度は、コロナ禍の影響もありましたが、コロナ前に少しずつ戻りつつあります。

西区体育館は改修工事のため休館したため、売上はありません。

今工事中の中央区複合庁舎に対して、自販機設置のお願いを行ったが、結果は未定となっている状況です。

〖収３〗さっぽろ聴覚障害者介護支援センター事業

Ⅰ　デイサービスほほえみ白石

①地域密着型通所介護 及び 第１号通所事業
（介護保険指定事業 及び 札幌市介護予防・日常生活総合支援事業）
※指定開始日　2020年6月1日・2020年5月1日

②共生型生活介護（障害者総合支援法）
※指定開始日　2020年4月1日
期間：2022年4月～2023年3月（年間）
場所：白石区菊水元町5条1丁目9-8

１．事業内容

利用者一人一人の意思及び人格を尊重し、手話でのコミュニケーションを保障しながら利用者の立場に立ったサービスを実施する。利用者の心身機能の維持向上や社会的孤立感の解消並びに家族の身体的、精神的介護負の軽減を図り、利用者の住み慣れた地域での在宅生活を支援した。

（１）地域密着型通所介及び第１号通所介護

要介護・要支援状態にある人が、可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、デイサービスに通い、健康チェックや機能訓練、入浴、レクリエーション等の支援を行った。

（２）共生型生活介護

障害がある人が自立した日常生活または社会生活を送ることができるよう、デイサービスに通い、食事や入浴、レクリエーションの他、身体機能や生活能力の維持向上のための訓練、創作活動等の支援を行った。

【2022年度 登録者の推移・通所回数内訳】

月	登録者数			通所サービス利用延べ回数			
	新規	終了	合計	介護保険		障害福祉	合計
				通所介護	総合事業	生活介護	
4月	0	0	23	51	53	22	126
5月	1	0	24	54	51	20	125
6月	0	0	24	58	58	24	140
7月	0	0	24	60	38	19	117
8月	1	0	25	59	51	23	133
9月	0	0	25	57	33	20	110
10月	0	0	25	75	28	19	122
11月	0	1	24	75	29	22	126
12月	0	1	23	48	22	11	81
1月	0	0	23	67	27	17	111
2月	0	0	23	59	33	20	112
3月	1	1	23	63	40	13	116
計	3	3	23	728	463	230	1421

２．利用者の状況

【居住区別】

住居区	白石	東	豊平	北	手稲	厚別	南	清田	中央	西	計
（人）	3	3	3	4	0	6	1	0	2	1	23

【要介護度・障害区分別】

要介護度（人）	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
	5	2	10	3	0	0	0	20
障害区分（人）	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	その他	計
	0	1	0	1	0	1	0	3

【性別・年齢別】

年代（人）	60代	70代	80代	90代	平均	68歳～91歳
	1	11	9	2	80歳	

男	女
7	16

３．デイサービスほほえみ白石運営推進会議

期間：2022年4月～2023年3月（年間2回開催）
会場：デイサービスほほえみ白石
構成：利用者・町内会・地域包括支援センター・ほほえみ白石職員

月日	実施事業名等	内容概要
9月 13日	第１回運営推進会議	事業・活動報告、ヒヤリハット事故報告 昼食代改定報告、利用者アンケート報告
2月 14日	第２回運営推進会議	事業・活動報告、ヒヤリハット事故報告 情報・意見交換

４．研修受講

職員の資質向上のため、各種研修に参加及び自主開催し、研鑽に努めた。

	月　日	内　容	受講者数
外 部	8月3～4日	新任相談援助職員研修（北海道社会福祉協議会）	1
	9月5日～10月24日	看護師専門研修（オンライン）	1
	2月3日～3月31日	聴覚障害者関係施設　中堅職員研修（オンライン）	1
内 部	4月29日	障がい者のコミュニケーションに関する活動団体	5
	5月20日	虐待防止	5
	10月22日	新職員研修「札幌聴覚障害者協会について」	1
	10月22日	札聴協職員研修「働きやすい職場環境とは？」～ストレスコントロールと健康増進～	4
	11月22日	リスクマネジメント	5
	1月19日	感染症対策（ノロウイルス）	6
	1月25日	身体のセルフケア	5
	2月16日	防災について	6
	2月22日	施設見学（ほほえみの郷・ほほえみ手稲）	1

５．行事等企画

利用者の余暇活動の支援を目的として、様々な企画を実施した。

※他＝家族、ボランティア、講師、住民、通訳者など

月　日	内　容	場　所	参加	内　訳		
				利用	職員	他
4月7～8日	ミニ講座「水を飲もう」	デイルーム	13	8	5	0
4月12日	ハンドトリートメント体験	デイルーム	17	8	5	4
4月18～22日	2周年記念お食事会	デイ・カフェ	55	32	23	0
4月26～28日	お花見	豊平公園	22	14	8	0
5月19・24日	ミニ講座「口のはたらき」	デイルーム	16	11	5	0
6月20～22日	外出レク	丘珠空港	22	13	7	2
6月24日	ミニ講座「熱中症予防」	デイルーム	10	8	2	0
7月28日	防災訓練	デイルーム	8	5	3	0
8月5日	ミニ講座「薬について」	デイルーム	20	16	4	0
9月2・8日	ミニ講座「転倒・骨折予防」	デイルーム	13	10	3	0
9月12～16日	敬老会	ほほえみカフェ	51	27	21	3
9月27日	ふまねっと運動	デイルーム	11	6	3	2
10月11～14日	スポーツ週間・体力測定	デイルーム	28	26	2	0
12月21～23日	冬至・クリスマス会	デイルーム	29	15	14	0
12月26～28日	大晦日	デイルーム	34	22	11	1
1月4～5日	新年会	デイルーム	21	12	9	0
1月12～13日	ミニ講座「ヒートショック」	デイルーム	11	9	2	0
2月6～7日	ミニ講座「救急119番」	デイルーム	14	11	3	0
2月1～3日	節分	デイルーム	24	15	8	1
2月13～14日	バレンタイン	デイルーム	17	11	4	2
2月28日	防災訓練	デイルーム	9	0	5	4

６．職員等体制（2023年3月31日現在）　計7名

常　勤　2名	管理者兼生活相談員　1名 生活相談員兼介護職員　1名
非常勤　5名	看護職員　1名 介護職員　4名　（内、送迎専門職員1名）

７．防災対策

併設のほほえみ作業所と消防計画を作成し、年二回の消防訓練と年一回の防災点検を行った。

7月28日は利用者5名と火災を想定した避難訓練を実施。2月28日は、ほほえみ作業所と合同研修を行い、通報の方法および避難経路とけが人の搬送方法について確認をした。

８．昼食代の変更（2022年年11月1日施行）

食品等の高騰が続き、利用者及び家族のご理解をいただいて、デイサービスで提供している昼食価格を変更した。

昼食代（おやつ代含む）400円　→　500円（一食）

９．今年度の成果・反省

（１）前年度につづき、新型コロナウイルス感染の予防対策を講じながら、レクリエーションや余暇活動内容の工夫をした。今後も状況に合わせて安全対策を図りながら、活動の充実化を図る。

（２）今年度は病気や怪我等により介護度の上がった利用者が増えた。そのため支援内容も多様化した。職員不足のために必要な支援が十分行き届かない。転倒事故も発生させてしまった反省から、職員を増員し、時間ごとの見守り配置方法を日々工夫している。安全に過ごすことができるデイサービスを目指す。

（３）さまざまな病気を抱えた医療ケアの必要な利用者が増えている。一人ひとりの心身状態の変化を見落とさないための観察力が必要。万が一、急変時や救急搬送された場合に、瞬時に的確な対応ができるような医療情報ファイルを工夫し整備に取り組んでいる。

（４）IT機器等の活用、送迎専門職員の雇用、介護職員の増員、ボランティアの協力が得られ、職員の休憩時間が取りにくい課題は軽減されてきている。今後は職員の業務分担の整理、働きやすい職場環境の整備に取り組みたい。

（５）今年度は、高齢者住宅への入居を理由に解約された人や、病気等による利用休止をする人などが多数だった。利用者数が減り、運営が不安定かつ厳しい状態である。引き続き、関係機関との連携や施設周知に努めたい。

Ⅱ　サービス付き高齢者向け住宅事業

高齢の聴覚障害者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、聴覚障害者向けの設備を完備し、コミュニケーションの配慮が行き届く住宅を開設し、管理・運営を行った。

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷

登録番号：札―16第12号（2016年8月19日登録）
期　　日：2022年4月～2023年3月
場　　所：札幌市手稲区稲穂2条7丁目5-7
介護事業：小規模多機能型居宅介護事業所併設
提供サービス：安否確認、生活相談、食事提供

１．入居状況（2023年3月31日現在）　定員：20戸／24名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当月入居数(人)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
当月退去数(人)	0	1	0	2	0	1	0	1	0	0	1	0
入居戸数計(戸)	20	20	20	20	20	19	19	18	18	18	17	18
入居者数計(人)	23	22	22	20	20	19	19	18	18	18	17	19

２．入居者状況（2023年3月31日現在）

【性別・年齢別】

年代	60代	70代	80代	90代	平均	68歳～96歳
人数	1	3	8	7	85.1歳	

男	女
8	11

【要介護度別】＊平均要介護度：要介護1.18

要介護度（人）	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
	2	1	4	3	5	4	0	0	19

【夫婦等世帯数】

夫婦世帯	2 世帯	単身世帯	15世帯

３．職員等体制（2023年3月31日現在）　計18名

常 勤 兼 務　5名	所長 兼 生活相談員　1名 生活支援員　4名 ※いずれも、ほほえみ手稲介護職員と兼務
非常勤兼務　5名	生活支援員　5名 ※いずれも、ほほえみ手稲介護職員と兼務
アルバイト　8名	食事準備・片付　7名 清掃　2名（うち1名、食事準備・片付と兼務）

４．点検、修理、工事、防災対策等について

（１）8月と2023年3月に消防訓練および消防設備点検を行った。
高齢化や体力低下により、自力で避難できる入居者は少ない。避難誘導方法の課題は尽きず、次年度は実践的な訓練を実施する予定。その一方で、火事を起こさない、起きても広げないという考え方のもと、居室内の点検や学習を継続する。

（２）今年度は退去が多く、原状回復工事のための費用がかさんだ。
（経年による壁紙の変色等は、貸主負担による修繕となる。）

（３）共有部冷暖房の室外機（GHP）の総運転時間が設計寿命の目安である3万

時間を超え、今冬に不具合が多発。大規模な部品交換工事を実施した。

５．今年度の成果・反省

（１）開所後初めて施設内で看取りを行ない、一年間で4件となった。入居者の中にも、施設内での看取りに抵抗を感じる方がいたが、件数を重ねる中で、“仲間を見送る”という思いが沸いてきているように思う。「ほほえみで最期を迎えたい」という思いを叶えるため、今後も職員のスキルアップや関係機関との連携強化に努める。

（２）共有部での死亡事故が1件発生した。サ高住は共有部も含め「自宅」であり、居室内での転倒等、事故はあり得る。事故の防止に最大限努めるとともに、入居者本人や家族等に制度上の理解を得る必要がある。

（３）9月25日～10月10日にかけて新型コロナウイルスクラスターが発生。入居者の8割、職員の6割が感染する事態となった。最初の発症者の確認後の初動対応が後手になったことが、クラスター化の要因と考えられ、新型コロナ以外の感染症についても、入居者の日々の健康観察や症状等出現時の対応について検討し、感染拡大防止に努める。

（４）入居者や職員が札聴協関連事業や近隣地域の行事に参加する等、施設外との関わりを持てる取り組みに努めたい。

Ⅲ　小規模多機能型居宅介護事業

サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷に併設し、介護の支援が必要な入居者及び近隣地域の住民に対し、サービスを提供した。

小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲（事業所番号　0190400697）

指定開始日：2017年4月1日（指定通知書発行日：2017年3月27日）
事業：地域密着型小規模多機能型居宅介護及び
　　介護予防小規模多機能型居宅介護
場所：手稲区稲穂2条7丁目5－7
　　サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷 1階
面積：100.40㎡
定員：登録24名、通い12名、泊り4名

１．登録状況について

【登録状況の推移】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録者数(人)	20	20	19	19	17	17	17	17	16	16	17	19
登録率（%）	83.3	83.3	79.2	79.2	70.8	70.8	70.8	66.7	66.7	66.7	70.8	79.2
新規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
再開	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
休止	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
終了	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0

【登録終了者の状況等】（2023年3月31日現在）

区分	施設入所	入院	その他	計
人数（人）	1	0	5	6

２．登録者の状況（2023年3月31日現在）

【住居区別】

住居区	白石	東	豊平	北	手稲	厚別	南	清田	中央	西	計
（人）	0	0	0	0	18	0	0	0	0	1	19

【要介護度別】＊平均要介護度：要介護1.72

要介護度（人）	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
	2	3	3	7	4	0	0	19

【性別・年齢別】

年代	60代	70代	80代	90代	平均	68歳～96歳
人数	1	3	8	7	84.8歳	

男	女
6	13

３．サービス提供状況について

【サービス利用延べ回数及び一人当たりの月平均利用回数】

	通い	訪問	宿泊	延回数	月平均回数
4月	472	2126	0	2598	86.6
5月	405	1956	0	2361	76.2
6月	371	2006	0	2377	79.2
7月	332	1927	0	2259	72.9
8月	333	1860	0	2193	70.7
9月	287	1338	0	1625	54.2
10月	206	1247	0	1453	46.9
11月	279	1370	0	1649	55.0
12月	317	1416	0	1733	55.9
1月	494	1186	0	1680	54.2
2月	303	1402	0	1705	60.9
3月	309	1487	0	1796	57.9
計	4108	19321	0	23429	770.6

※月平均回数＝サービス提供延べ回数÷（当月日数×登録者数）×7

※月一人当たり平均利用回数は、週4日以上の定め

４．（介護予防）小規模多機能型居宅介護（短期利用型）

利用者の状態や家族等の事情により緊急に利用することが必要であると認め、登録定員の範囲内であり、サービス提供に支障がない場合、空いている宿泊室等を利用し、短期間のサービスを提供するものである。

今年度は利用がなかった。

５．自家用有償旅客運送（福祉有償運送）

小規模多機能型居宅介護の登録者を会員とし、設定した料金において、車で数分の距離にある医療機関等へ個別輸送を行なった。

期間：2022年4月～2023年3月
対象：小規模多機能型居宅介護の登録者
体調、ケガ、筋力低下等による歩行困難などで、外出時に介助を要する人
料金：

距離	料金	備考
1km未満	100円	近隣の医療機関・店舗
1km～2km未満	300円	
2kmから500m毎	プラス50円	

【稼働状況】

	回数	距離(km)	目的		
			受診	買い物	その他
4月	7	52.6	7	0	0
5月	5	93.2	5	0	0
6月	3	17.1	3	0	0
7月	3	34.5	3	0	0
8月	5	96.2	5	0	0
9月	2	5.3	2	0	0
10月	3	15.3	3	0	0
11月	3	62.6	3	0	0
12月	5	41.8	5	0	0
1月	4	31.6	4	0	0
2月	1	7.0	1	0	0
3月	5	25.0	4	0	1
計	46	482.2	45	0	1

６．小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲運営推進会議

期間：2022年4月～2023年3月（年間6回開催予定）
会場：ほほえみの郷1階　居間・食堂
構成：利用者・町内会・地域包括支援センター・手稲区支部・
手稲区手話サークル・ほほえみの郷職員・ほほえみ手稲職員

月日	実施事業名等	内容概要
5月25日	第１回運営推進会議	事業報告・自己紹介・新型コロナウイルスへの対策説明・意見交換
7月13日	第２回運営推進会議	事業報告・夏祭り開催に向けたお知らせ・意見交換
9月14日	第３回運営推進会議	事業報告・コロナ禍における取り組み・秋祭り開催のお知らせ・意見交換
11月9日	第４回運営推進会議	事業報告・施設内クラスターに対する取り組み・意見交換

1月18日	第５回運営推進会議	事業報告・看取り支援に対する取り組み説明・外部評価の配布・意見交換
3月15日	第６回運営推進会議	事業報告・外部評価の回収・来年度へ向けた取り組み説明・意見交換

※年6回開催、奇数月に開催

７．研修受講

	月　日	内　容	受講者数
外部	4月27日	褥瘡予防について（オンライン）	2
	5月13日	福祉有償運送講習	1
	7月25日	災害支援ナースⅠ	1
	11月8日～9日	災害支援ナースⅡ	1
	11月14日～ 12月6日(隔日)	介護職員初任者研修	1
	12月15日～ 1月6日(隔日)	介護福祉士実務者研修	1
	2月3日～ 3月31日	聴覚障害者関係施設中堅職員研修（オンライン）	2
内部	5月20日	虐待防止と身体拘束	12
	10月22日	新職員研修「札幌聴覚障害者協会について」	3
	10月22日	札聴協職員研修「働きやすい職場環境とは？」 ～ストレスコントロールと健康増進～	7
	12月7日	心身のセルフケア	6
	1月16日	リスクマネジメントと事故対応	10
	3月17日	認知症とは、認知症ケアについて	10

８．行事等企画（ほほえみの郷・ほほえみ手稲）

入居者、利用者の余暇活動の支援を目的として、様々な企画を実施した。新型コロナウイルス感染予防に留意して行った。

月日	内容	場所	参加	内訳			
				手稲	郷	職員	他
4月5日	5周年記念会	ほほえみの郷	37	20	3	12	2
5月12日	料理レク	ほほえみ手稲	23	18	―	5	0
6月 28日	外食レク	石狩当別	28	15	1	9	3
10月24日	料理レク	ほほえみ手稲	11	7	―	4	0
11月25日	おやつレク	ほほえみ手稲	10	6	―	4	0
	入居者会議	ほほえみの郷	23	15	3	5	0
12月23日	クリスマス会	ほほえみの郷	24	15	3	6	0
12月27日	お餅つき	ほほえみの郷	23	14	2	7	0
1月25日	外食レク①	札幌市内	7	4	―	3	0
1月30日	外食レク②	札幌市内	4	2	―	2	0
2月3日	恵方巻レク	ほほえみの郷	28	14	3	10	1
3月2日	ひな祭り交流会	ほほえみの郷	23	14	2	7	0

※他＝家族、ボランティア、講師、住民、通訳者など

９．職員体制（2023年3月31日現在）　計14名

常　勤　7名	管理者 兼　介護職員　1名 計画作成担当者　1名 介護職員　5名（ほほえみの郷生活支援員と兼務）
非常勤　7名	看護師　　2名 介護職員　5名（ほほえみの郷生活支援員と兼務）

10．今年度の成果・反省

（1）今年度は重大死亡事故が1件発生し、看取りは4件にのぼった。開所以降初の看取り介護を行ってから、ご逝去が相次いだ。開所当初は死に携わることに抵抗感を抱いていた職員が多数であったが、5年の年月をかけ日常介護に携わるうちに、最期まで関わりたいという意識に変わり、関係機関との連携で、看取り介護の実現に繋がった。来年度以降も「ほほえみの郷で最期を迎えたい」という登録者の思いを叶えるため、研鑽を積むとともに、関係機関と連携を進めたい。

（2）9月25日～10月10日にかけて施設内で新型コロナウイルスクラスターが発生。職員の6割、併設施設内登録者も8割が感染する事態となった。併設施設外で生活されている登録者の感染は確認されなかった。クラスター収束までの期間は、通常の支援をすべて中止せざるを得ない状況に陥った。
発症が確認されてからの対応の流れや感染症に対するリスクマネジメントなど様々な課題が浮き彫りとなった。

（3）新採用（復職含む）の職員が多い一年だった。しかし、時短勤務（パート）の職員が多く、シフト制・夜勤ありの事業所としては人員繰りに苦労している。今年度末で退職する職員もおり、新しい職員を継続して募集しつつ、業務内容の改善を図り、日々の通所者数に見合った職員配置を心がける。

（4）職員自身からの要望と事業所からの応援もあり、初任者研修と実務者研修をそれぞれ1人ずつ受講し資格を取得した。資格取得は昇格および昇給の要件で、職員自身のモチベーション向上に繋がる上に、職場への還元も含めて、大きな財産となる。来年度以降も職員へ働きかけをして資格取得、スキルアップを目指したい。

（5） Facebookの運用が思うように進まず、今年度末からInstagramの運用に切り替えることとした。コロナ禍で施設内の様子を地域の方にお見せできない状況が続いているので、引き続きSNSを活用して明朗快活な施設づくりを目指したい。

Ⅳ　介護支援センター共通

１．職員の資格保有状況（2023年3月31日現在）

	介護支援専門員	介護福祉士	初任者研修等	看護師 (准看護師含む)	無資格
常勤	2	5	3	0	0
非常勤	0	3	4	4	1
計	2	8	7	4	1

２．広報

①毎月発行するＨＳＫ札聴紙へ活動状況を掲載、発信した。（計11回）
②各事業所合同の機関紙「さっぽろ聴覚障害者介護支援センター通信」を発行し、関係者に配布し情報発信を行なった。（計4回）
③ほほえみの郷・ほほえみ手稲はFacebook（フェイスブック）のページに加え、Instagram（インスタグラム）を開設し、ほほえみ白石もFacebookページを活用して、日頃の情報配信に努めている。

３．その他

①職員の健康診断と特定診断を予定通り行なった。（年1回）
②新型コロナウイルス感染症について、各事業所において可能な範囲の対策を続け、ほほえみの郷では新型コロナワクチンの施設内接種を進めた。
③新型コロナウイルス感染症に関わる様々な補助制度を適宜申請し、かかりまし費用の補填に努めている。

Ⅴ　さっぽろ聴覚障害者介護支援センター事業運営委員会

期間：2022年4月～2023年3月（年間3回開催）
時間：19：00～20：45
会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	出席	回	月日	出席
1	2022年5月27日(金)	10名	2	2022年9月30日(金)	書面
3	2023年1月20日(金)	10名			

構成：団体等個人に運営委員を委嘱
札幌手話サークル連絡協議会：鍛治由佳子氏、久保田昭人氏
札幌手話通訳問題研究会：近間諒一氏、宮本ゆかり氏
聴覚障害者支援センターほほえみ後援会：田村玲子氏、
三澤美紀子氏
（公社）札幌聴覚障害者協会：高嶋正博副理事長、森恵子理事
担当職員：樋口あやこセンター長兼サ高住ほほえみの郷所長
有山将大所長（小多機ほほえみ手稲）
中村千恵所長（デイサービスほほえみ白石）
内容：センター事業（デイサービス、サ高住、小規模多機能型居宅介護）の現況報告および意見交換を行った。
※第2回目の委員会は、ほほえみの郷およびほほえみ手稲の新型コロナウイルスクラスター発生により、資料配布による会議とした。

Ⅵ　「虐待防止委員会」及び「身体拘束適正化委員会」開催

（聴覚障害者支援センターほほえみと合同開催）

※詳細はＰ43を参照

〖他１〗相互扶助事業

Ⅰ　支部・青年部・女性部・高齢部等における各種行事の実施

１．支部事業

（１）専門部会議での会計部、組織部、情報・コミュニケーション部会議

開催：毎月第１火曜日19：00～20：30

月１回のうち実施した会議９回（5月、8月、1月は休み）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月　日	回	月　日
1	2022年4月5日	6	11月1日
2	3月7日	7	12月6日
3	7月5日	8	2023年2月7日
4	9月6日	9	3月7日
5	10月4日		

① 札幌聴覚障害者協会会員数

	2022年4月1日	2023年3月31日	増減	備　考
正会員	384名	372名	−12	入会15名・退会27名 ※退会理由：市外転出、自己都合ほか
賛助	76名	74名	−2	

② 区別会員数　（単位：名）

	中央	北	東	白石	厚別	豊平	清田	南	西	手稲	市外	計
正	18	78	67	39	27	24	13	12	47	47		372
賛助	8	5	12	6	5	3	1	3	12	12	6	74

③年代・性別別会員数（正会員）　（単位：名）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	計
男性	0	7	14	20	32	47	68	17	2	207
女性	0	8	11	23	26	40	41	13	3	165

④HSK札聴障購読者数（有料購読者）

	2021年3月31日	2022年3月31日	2023年3月31日	増減
市内	92名	108名	108名	0
市外	40名	25名	27名	+2
道外	1名	7名	0名	−7
合計	133名	140名	135名	−5

⑤日本聴力障害新聞購読者数（札幌市内）

2021年3月31日	2022年3月31日	2023年3月31日	増減
218名	204名	200名	−4

※札聴協事務局での新規購読申込受付数：10名

⑥季刊MIMI購読者数

2021年度	2022年度	増減
31名	37名	+6

【組織部】

専門部会議について

2022年度は基本的に対面で参集した。専門部会議では、札聴協からの情報提供、意見交換をした。活動制限の中、会員の入退会者数は12名減少・賛助会員は２名減少。札聴障新聞の購読者は年々増えては減っている、日聴紙の購読者数も減少してしまっている。今後は対面、行事でのアピール強化、会員のニーズを把握しながら、コロナ禍前の日聴紙購読者数に戻していきたい。

（２）区支部（中央・北・東・白石・厚別・豊平・清田・南・西・手稲）が取り組む調査・研究や学習会等の活動を支援する事業

各区支部事業報告

<table>
<tr><th>区支部</th><th colspan="5">行事事業名</th></tr>
<tr><td>中央</td><td colspan="5">コロナ禍のため、行事は行っていません</td></tr>
<tr><td>北</td><td>5～10月麻生
高齢者サロン</td><td colspan="2">9月焼肉交流会
（中止）</td><td colspan="2">1月　新年会
（中止）</td></tr>
<tr><td>東</td><td>6月ﾊﾟｰｸｺﾞﾙﾌ
＆野外交流会
中止</td><td>7月元町
夏祭り
中止</td><td>9月 フロア
カーリング
交流会中止</td><td>11月13日東区
手話まつり
中止</td><td>12月 合同
ｸﾘｽﾏｽ会
中止</td></tr>
<tr><td>白石</td><td colspan="2">9月　秋の交流会　中止</td><td colspan="3">12月　手話サークル＆合同忘年会　中止</td></tr>
<tr><td>厚別</td><td colspan="5">10月23日 秋の親睦会</td></tr>
<tr><td>豊平</td><td colspan="3">7月　ハイキング＆ジンギスカン交流会</td><td colspan="2">忘年会 中止</td></tr>
<tr><td>清田</td><td colspan="5">12月　忘年会　中止</td></tr>
<tr><td>南</td><td colspan="5">コロナ禍のため、行事は行っていません</td></tr>
<tr><td>西</td><td>9月　野外交流会
雨天のため中止</td><td colspan="2">12月　クリスマス会中止</td><td colspan="2">2月　温泉交流
会中止</td></tr>
<tr><td>手稲</td><td>6月 支部交流
会</td><td colspan="2">9月19･20日　手稲神社祭
全国ろうあ者体育大会のため
出店不参加</td><td>10月 ボウリング
交流会お休み</td><td>12月
忘年会</td></tr>
</table>

※各区支部の映画「咲む」上映会についてはＰ53を参照

２．青年部、女性部、高齢部等の各部が取り組む調査・研究や学習会等の活動を支援する事業

（１）青年部事業

①青年部事業報告

日　程	行事名	参加人数
2022年6月26日	ダベり場①　『ジェスチャー泥棒ゲームで楽しもう♪』（Silent Voice協力）	14名

2022年10月2日	ダベり場②　『スポーツ交流会』	16名
2023年2月23日	ダベり場③　『ミッション・ヒョウジョウシブル』～表情のみでクリアせよ～	26名
2022年9月24日	異言語Lab.（ラボ）と共催『あしたげいもり×月夜の空想ミュージアム』	スタッフ5名
2022年12月17日	全青研報告会	8名
2023年3月21日	第12回定期総会	9名

②青年部会議：年12回開催　会場：市身体障害者福祉センター

今年度も新型コロナウイルス感染症が収まらず、札幌市では感染者数の増減がありましたが、当青年部では、コロナ感染対策をした上で、３つのダベリ場そして他団体との共催企画、全青研報告会、社会生活教室を予定通り開催することができました。

たくさんの方たちに参加していただき、とても充実した企画を開催できたと思います。

コロナ禍前に戻りつつ、これからも青年部を盛り上げていきたいと思います。また、会員拡大にも力を入れたため、行事開催のたびに、青年部の説明や入会を催促していく工夫をしてきました。その効果もあり、来年度は数人が会員に入る見込みです。

（２）女性部事業

①女性部事業報告

日　程	行事名	参加人数
2022年8月25日	第35回がん検診（札幌がん検診センター）	9名
11月	報告会	中止
	三部交流会	中止
2023年2月5日	第12回定期総会	21名

②女性部会議：４回開催（内オンライン会議１回）
会場：市視聴覚障がい者情報センター
③社会生活教室：２回「110番アプリシステムの登録をしよう」
「カラーセラピー教室」
④機関誌：年２回発行
⑤創立50周年記念事業実行委員会：９回開催
会場：市視聴覚障がい者情報センター

新型コロナウイルスの行動制限が緩和された中、今年度もがん検診を行うことができました。2023年度に創立50周年を迎えることから、実行委員会を立ち上げ毎月会議を行ってきました。

（３）高齢部事業

①高齢部事業報告

日　程	事業名	参加人数
6月26日	ろうあ者パークゴルフ共同交流会・石狩緑苑台。 高齢化で36ホールは体力的にしんどい方のため 18ホール制を設けておこなったことが好評です	26名
7月20日	先住民族学習会 見学には館内にガイドが付けられず、展示内容を十分に理解できたと言い難いが、新しい施設の雰囲気を楽しめたと思います。	27名
11月28日 2月13日	高齢部・老人クラブ・ともとの三者懇談会 超高齢化時代に関わる大切な課題の話し合いでした。次年度から協会は、労働福祉部が担当します。次年度から参加対象を増してほしいという要望があった。	各団体から4～5名出席。
役員会開催	4・6・8・10・12・2・3月の第3水曜日	出席率10割近く出席。
老人クラブ 毎週木曜日	時間短縮して10時から12時まで開催 ポイントのみ報告します。 1.　社会奉仕活動。2.健康を増進する活動。3.高齢者慰問、交流活動。4.趣味・文化を高め合う活動 5.後継者養成活動や会員の状況把握、広報活動 6.ニュースの毎月発行活動。	

３．会員慶弔福利制度事業

①会員に慶弔がある時は、会員からの申請に基づき随時手続き処理をした。

＜2022年度手続き件数＞　（単位：件）

①結婚祝金	0	⑤銀婚祝金	0
②入学祝金	1	⑥入院見舞金	2
③長寿祝金	6	⑦災害見舞金	0
④銅婚祝金	0	⑧死亡弔慰金	1
		合計	10

４．新年交礼会事業

新年も引き続き協力しながら聴覚障害者の福祉向上の実現に向け、心新たに活動を続けようと親睦と交流をかねて、「2023年新年交礼会」を2023年1月7日（土）開催予定だったが、コロナ禍により中止。

Ⅱ　聴覚障害者が参加する各種クラブ活動への助成等

１．活動助成事業（文化系・スポーツ系・福祉系他）

以下のクラブに対し、活動助成金を支給した。

クラブ名	内容	代表者	会員数
＜文化系＞　１クラブ			
デフ・フォトクラブ	写真	河村　明子	13名
＜スポーツ系＞　７クラブ			
S.R.B.C(札幌ろうあボウリングクラブ)	ボウリング	池　正直	19名
サッポロデフバドミントンクラブ	バドミントン	佐藤　裕介	25名
札ろうパークゴルフクラブ	パークゴルフ	菊地　恒雄	17名
札幌ろうあ者フロアカーリングクラブ	フロアカーリング	水除　弘子	17名
札幌デフ・カーリングクラブ	カーリング	一色　秀和	11名
北海道デフファイターズ	ソフトボール	原　理司	23名
＜性別・年齢別系＞　１クラブ			
札幌ろうあ老人クラブ	老人親睦	守屋　弘之	53名
＜福祉系＞　１クラブ			
重複聴覚障害者と高齢ろうあ者の住宅福祉を考える会「とも」		伊勢谷小枝子	126名

※札幌デフソフトバレークラブ（代表：菅井祐哉）は助成金の申請を辞退

２．札幌市視聴覚障がい者文化・スポーツクラブ等助成金交付事業（札幌市）

視聴覚障がい者の社会参加を推進し、その福祉向上を図るため、札幌市内において当該障がい者が自主的に運営する非営利の文化、スポーツクラブ、サークル団体の活動に要する経費の一部を助成するものであり、クラブ代表者会議第11回定例総会において交付対象のクラブを決定した。

（年間３クラブ）
2022年度助成金交付クラブ：デフ・カーリングクラブ
ボウリングクラブ
バドミントンクラブ

３．スポーツ大会開催事業・選手派遣等

（１）全道ろうあ者夏季体育大会への競技団体参加費助成事業
第56回全国ろうあ者体育大会in北海道を開催のため、休止した
（２）全国ろうあ者体育大会への選手派遣事業
「第56回全国ろうあ者体育大会in北海道」
札幌から各競技選手より51名を出場した。

４．全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技北海道・東北地区予選大会への選手派遣補助金事業

なし

５．クラブ代表者会議及び運営会議

期間：2022年4月～2023年3月（年６回会議開催）
会場：市体障害者福祉センターなど
対象：文化・スポーツクラブの代表者及び担当

（１）クラブ代表者会議

回	日程・時間	主な内容	クラブ出席
1	2022年4月1日（金）	定期総会	9クラブ
2	2022年7月15日（金）	クラブ助成金申請書提出、分担金納金 クラブの報告など、	11クラブ
3	2023年1月20日（金）	クラブ助成金支給、事業報告、各クラブより報告	9クラブ

（２）運営会議

回	日程・時間	主な内容	出席人数
1	2022年6月3日(金) オンライン	今後の事業など	3名
2	2022年12月2日（金） メールによる会議	各事業報告	5名
3	2023年3月24日（金）	総会の準備、会計について	4名

（３）クラブ代表者会議加入クラブ（2023年３月31日現在）

①文化系４クラブ（内１クラブ休部：札幌聾史研究会）

②スポーツ系９クラブ（内２クラブ休部：男子バレーボールクラブ、札幌デフフットボールクラブ）

【クラブ支援部】

１、少子高齢化が進む中、会員数が減少している状況があることからその理由で休部になるクラブが目立ってきている。

２、クラブ員の減少傾向にあったが、２クラブより入会申請があり、少しでも仲間がいて増えていることは大変喜ばしいことです。

３、コロナの禍が落ち着き、全国ろうあ体育大会が再開されたことから、3年ぶりに参加した選手の中から加盟している人たちに助成金を支給した。

４、クラブ活動が再開しつつあるが、ソーシャルディスタンス等の感染対策に留意しながら実施されている。

５、現在、課題になっているが、スポーツ選手の引退の理由で協会会員を退会しないように呼びかけを協力していきたい。
その選手が所属している競技団体の役員及び仲間より説得してもらう事が重要。

Ⅲ　国際友好交流事業の実施

１．中国瀋陽市聾人協会との友好交流行事の実施
５年に一度の開催のため、実施せず。

２．韓国ろうあ者協会大田広域市協会との友好交流事業の実施
コロナ禍のため延期。

〖他２〗各種大会への協力及び支援事業

2022年度の事業なし。

【法人関係事業】

法人関係事業

Ⅰ　さっぽろ夏まつり福祉協賛ビアガーデン（協力）

キリンビール（株）様の協力のもと、夏まつり福祉協賛ビアガーデンのビール券を行政や企業、団体、各区支部、クラブ、会員等へ販売普及した。

期間：2022年7月22日（金）～8月17日（水）
会場：大通公園西7丁目（キリンビール）
販売枚数：2,340枚

Ⅱ　総会・理事会・委員会・会議等の開催

１．社員総会開催

「第12回定時社員総会」

期日：2022年5月22日（日）9：45～13：40
会場：市視聴覚障がい者情報センター　大会議室
主な議題：2021年度事業報告及び決算報告、2022年度事業計画及び予算、
　　規則・規程一部改正
代議員数：82名　（開会時）出席：60名（内、委任17含み）
　　（採決時）出席：62名（内、委任17名含み）

２．理事会開催

１）定時理事会

会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	時間	出席理事	出席監事
1	2022年4月17日	19：30～14：35	16名	2名
2	5月21日	18：30～20：20	16名	2名
3	6月19日	9：30～16：00	14名	2名
4	8月28日	9：30～16：15	15名	2名
5	10月16日	9：30～16：30	16名	2名
6	12月11日	9：30～16：30	15名	2名
7	2023年2月25日	18：30～20：40	16名	2名
	2月26日	9：30～16：20	16名	2名

２）臨時理事会

回	月日	時間	出席理事	出席監事
1	4月20日	18：30～19：30	14名	2名

３）書面

回	提案日	理事（同意）	監事（確認）
1	2022年11月18日	16名	2名
2	2023年3月27日	16名	2名

※理事会出欠票は別表Ｐ82に記載

３．三役会議

期間：2022年4月～2023年3月（月1回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2022年4月6日(水)	4名	5	10月5日(水)	4名
2	5月11日(水)	4名	6	12月7日(水)	4名
3	6月1日(水)	中止	7	2023年2月8日(水)	4名
4	8月3日(水)	4名			

時間：19：00～21：00

出席：渋谷雄幸理事長、高嶋正博副理事、中和彦副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長

内容：理事会で確認された事項の取り組みについて経過報告、次回理事会の議題、報告とする事項の確認、整理をおこなった。

４．経営会議

期間：2022年4月～2023年3月（月1回開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2022年4月27日(水)	7名	7	10月26日(水)	7名
2	5月25日(水)	7名	8	11月30日(水)	7名
3	6月22日(水)	7名	9	2023年1月25日(水)	7名
4	7月27日(水)	6名	10	2月22日(水)	7名
5	8月24日(水)	6名	11	3月29日(水)	7名
6	9月21日(水)	6名			

時間：19：00～21：00

出席：渋谷雄幸理事長、高嶋正博副理事長、中和彦副理事長、京野大樹常務理事兼事務局長、秋井利江聴覚障害者支援センター長、渋谷悌子コミュニケーション支援課長、樋口あやこさっぽろ聴覚障害者介護支援センター長

内容：各事業の事項及び人事について事項の確認等を行った。

５．職員会議・研修

日時：10月22日（土）

会場：札幌市視聴覚障がい者情報センター

午前：新職員研修「札幌聴覚障害者協会について」

午後：全職員研修

講演「働きやすい職場環境とは？～ストレスコントロールと健康増進」

講師　奥村宣久 氏（NPO法人レストレーションサポート　代表）

６．三団体懇談会

構成：札聴協・札サ連・札通研

期間：2022年4月～2023年3月（月1回・第3火曜日開催）

会場：市視聴覚障がい者情報センター

回	月日	人数	回	月日	人数
1	2022年4月19日	7名	7	11月15日	7名
2	5月17日	7名	8	12月20日	7名
3	6月21日	8名	9	2023年1月17日	6名
4	7月19日	6名	10	2月21日	8名
5	9月20日	4名	11	3月22日	7名
6	10月18日	4名			

札聴協：中和彦副理事長・京野大樹常務理事兼事務局長・福島太郎理事・若浜ひろ子理事

札サ連：宮本英行会長・鍛治由佳子副会長・久保田昭人事務局長・坂本美恵子広報部長・三上基子会計部長

札通研：太田利実副運営委員長・渋谷悌子事務局次長、村田紀幸事業部次長、佐藤薫会計部次長

各団体の会員数、事業のお知らせ、活動状況報告、札幌市手話言語条例、研修センター後援会協力や取組みのお願いなど情報交換や日聴紙、札聴紙の購読者および手話研修センター後援会員の拡大の意見交換を深めている。

７．一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会

① 2022（令和４）年度定時総会　（書面決議・書面報告）

日時：5月18日(水)15：00～

場所：札幌市身体障害者福祉センター

出席者：理事長　渋谷雄幸（(一社) 札幌市障がい者スポーツ協会理事）
正会員団体代表の代理　常務理事　京野大樹

② 2022（令和４）年度理事会（2回）

日時：第1回　2022年4月27日（水）15：00～
第2回　2023年3月22日（水）15：00～

出席者：理事長　渋谷雄幸（(一社) 札幌市障がい者スポーツ協会理事）

８．札幌市障がい者によるまちづくりサポーター制度会議

日時：①2022年 7月13日(水)　10：00～12：40
②2022年10月12日(水)　16：00～18：30
③2022年12月14日(水)　15：00～16：30

場所：札幌市役所

委員：構成人数　11名

出席：金原浩之理事

内容：対面とオンラインにて会議を行った。但し、対面の参加者が増えたがオンラインもいるため十分な協議ができたとは言えなかった。委員は札幌市役所の会議室を利用して参加。
メインテーマについて話し合い、「行政の情報保障」とした。
障害者団体にアンケートを行う予定。

９．2022（令和4）年度札幌市障害者週間記念事業実行委員会
書面開催（10月11日）
承諾書提出日　10月18日

10．聴覚に障がいのある方にかかる消費生活相談懇談会
書面開催（2023年3月8日）

11．障がい者コミュニケーション促進委員会
日時：3月15日(水)14：00～
場所：札幌市視聴覚障がい者情報センター
出席者：高嶋正博副理事長
出席団体：北海道自閉症協会、札幌手話通訳問題研究会、点訳奉仕 むつの会、札幌市身体障害者福祉協会、札幌盲ろう者福祉協会、要約筆記通訳者サークルふきのとう、札幌市視覚障害者福祉協会、札幌市手をつなぐ育成会、札幌市中途失聴・難聴者協会、札幌学院大学、札幌市精神障害者家族連合会、日本ALS協会北海道支部

12．その他

（１）北海道札幌聾学校　学校評議員会
趣旨：校長の求めに応じて、学校の教育目標及び計画、教育活動の実施、学校と地域との連携の進め方その他、校長が行う学校運営に関し、一人一人がそれぞれ責任において、校長に対し意見を述べる。
日時：第１回　2022年7月19日(火)　9:30～11:00
第２回　2023年3月8日（水）　13:30～15:00
場所：北海道札幌聾学校
出席者：公益社団法人札幌聴覚障害者協会理事長　渋谷雄幸
北区北地区民生委員・児童委員協議会副会長　渥美健治
北海道札幌聾学校ＰＴＡ会長　只石亜由美
札幌聾学校同窓会長　杉本五郎
札幌医科大学医学部耳鼻咽喉科教授　高野賢一
学校職員:校長 四木定宏、教頭 宇野宏之祐・青木淳、
事務長 相場昌子

（２）第32回全国専従職員研修会

日程：2022年12月16日(金)～17日(土)
会場：寿楼本館（兵庫県神戸市）
参加者：30名
派遣者：京野大樹常務理事、宮本眞知子職員

１日目（12月16日）
①開会式・オリエンテーション
②基調報告　組織委員会
③講演「人とのつながりを大切に　～自分がよき手本となるために～」
講師　全日本ろうあ連盟監事　四国ろうあ連盟事務局長　近藤龍治氏
④グループ討論・発表
２日目（12月17日）
グループ討論・発表・全体会

Ⅲ　人事(採用･異動･退職)報告　【2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日】

法人事務局
佐藤尚行（2022年4月1日付身分変更　正職員→常勤嘱託職員）
②コミュニケーション支援課
植竹美和子（2022年4月1日付採用　コミュニケーション支援課 非常勤嘱託職員） （2022年12月10日付退職） 木梨唯公美（2022年9月12日付採用　コミュニケーション支援課 非常勤嘱託職員） 森川 僚 （2022年10月31日付退職）
③聴覚障害者支援センターほほえみ
荒谷友理（2022年4月1日付採用　非常勤嘱託職員・ほほえみ作業所） 逢見 覚 （2022年4月1日付採用　非常勤嘱託職員・ほほえみ作業所） 香川千鶴（2022年4月1日付採用　非常勤嘱託職員・ほほえみカフェ） 大島正博（2022年4月1日付身分変更　常勤嘱託職員→非常勤嘱託職員） 遠藤智恵（2022年9月1日付採用　非常勤嘱託職員・グループホーム）
④さっぽろ聴覚障害者介護支援センター
神文（2022年4月1日付身分変更　常勤嘱託職員→正職員） 会田妃佐江（2022年4月6日付採用　非常勤嘱託職員・ほほえみ手稲） 齋藤杏奈（2022年5月10日付退職） 手塚満里（2022年5月11日付採用　非常勤嘱託職員・ほほえみ手稲） 太田孝治（2022年7月5日付兼務　非常勤嘱託職員・デイサービスほほえみ白石） 泉 隆行（2022年8月11日付採用　非常勤嘱託職員・ほほえみ手稲） 畠 山和子（2022年8月10日付退職） 菅原藤枝（2022年8月23日付採用　非常勤嘱託職員・ほほえみ手稲） 瀬戸嘉乃（2022年8月29日付採用　非常勤嘱託職員・デイサービスほほえみ白石） 長島千尚（2022年9月12日付採用　非常勤嘱託職員・ほほえみ手稲） 堀内啓太（2023年1月5日付採用　非常勤嘱託職員・デイサービスほほえみ白石） 菊地里美（2023年1月31日付退職） 長井久美子（2023年3月31日付退職）

※職員等体制について
（105名（常勤・アルバイト・非常勤契約含む）　2023年4月1日現在）

①　法人事務局（手話普及事業・情報支援事業・電話リレーサービス提供事業）（20名）
事務局長1名、職員9名、アルバイト9名、計19名（正職員2名、定年再任用常勤嘱託2名、常勤嘱託5名、非常勤嘱託1名、アルバイト9名）
聴能言語訓練指導員（非常勤契約）1名

②　コミュニケーション支援課（手話通訳派遣事業係（医療手話通訳者派遣事業含む）、養成事業係）（28名）
課長1名、係長2名、職員13名、アルバイト12名　　計28名（定年再任用正職員1名、正職員3名、定年再任用常勤嘱託1名、常勤嘱託1名、非常勤嘱託10名、アルバイト12名）

③　聴覚障害者支援センターほほえみ　（28名）
㋐聴覚障害者地域活動支援センター（ほほえみ西）
所長1名、職員3名　計4名（常勤嘱託2名、非常勤嘱託2名）

㋑ほほえみ作業所　就労継続支援Ｂ型事業（ほほえみ作業所）
所長1名、職員6名、　計7名（正職員1名、常勤嘱託1名、非常勤嘱託5名）

㋒ほほえみカフェ（就労継続支援Ｂ型事業（ほほえみカフェ、菓子工房ほほえみ）
センター長1名、職員8名、アルバイト2名　計11名（正職員1名、定年再任用常勤嘱託2名、常勤嘱託1名、非常勤嘱託5名、アルバイト2名）

㋓共同生活援助事業（グループホームよつば・さくら）
職員4名　アルバイト2名　計6名（正職員1名、定年再任用常勤嘱託1名、非常勤嘱託2名、アルバイト2名）

④　さっぽろ聴覚障害者介護支援センター（29名）
㋐小規模多機能型居宅介護ほほえみ手稲
所長1名、職員12名　計13名（正職員4名、常勤嘱託2名、非常勤嘱託7名）

㋑サービス付き高齢者向け住宅ほほえみの郷
センター長・所長（兼務）1名、アルバイト8名　計9名（正職員1名、アルバイト8名）

㋒ほほえみの郷・ほほえみ手稲
施設長1名　計1名（常勤役員1名）

㋓デイサービスほほえみ白石
所長1名　職員5名　計6名（正職員2名、非常勤嘱託4名）

別表【理事会出欠表】

役職	氏　名	1	臨時	2	3	4	5	6	7	
		4/17	4/20	5/21	6/19	8/28	10/16	12/11	2/25	2/26
理事長	渋谷 雄幸	出	出	出	出	出	出	出	出	出
副理事長	高嶋 正博	出	出	出	出	出	出	出	出	出
副理事長	中　和彦	出	欠	出	出	出	出	出	出	出
常務理事	京野 大樹	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	福島 太郎	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	若浜ひろ子	出	出	出	欠	出	出※	出	出	出
理事	金原 浩之	出	出	出	欠	出	出	出	出	出
理事	野口 和伸	出	欠	出	出	出	出	出	出	出
理事	宮内 博子	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	越智　誠	出	出	出	出	欠	出	出	出	出
理事	佐藤 正昭	出	出	出	出	出	出	欠	出	出
理事	福岡 静枝	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	森　恵子	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	佐藤 尚行	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	新田 由香	出	出	出	出	出	出	出	出	出
理事	佐藤 英治	出	出	出	出	出	出	出	出	出
監事	泉　隆行	出	出	出	出	出	出	出	出	出
監事	東出　昇	出	出	出	出	出	出	出	出	出

出：出席・欠：欠席・※の印は遅参・早退